

**第三次柏市男女共同参画推進計画（前期）報告書**

**－ 平成29年度 実績報告 －**

**柏 市**

# 多様な生き方を認めあい 個性を生かせるまち柏

## 基本目標

## 基本課題

## 施策の方向性

### I. 男女が活躍できる環境づくり

#### 1. 女性の活躍促進

政策・方針決定の場へ男女が平等に参画する

**重点課題**

- (1) 市の政策・方針決定過程への女性の積極的参画と登用促進
- (2) 防災・地域活動 雇用等あらゆる分野への女性の参画の推進

#### 2. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

男女の働き方を見直し、仕事と生活の調和を目指す

- (3) 男女が共に担う家庭・地域づくり
- (4) 男女が平等に仕事と生活を両立できる環境づくり

#### 3. 男女共同参画を目指す教育・学習の推進

男女平等意識を高める

- (5) 男女平等の視点に立った意識改革と社会制度・慣行の見直し
- (6) 男女平等教育の推進

### II. 互いを尊重しあう意識づくり

#### 4. 人権に対する配慮

人権と性差を意識する

- (7) 人権の尊重
- (8) 性差に配慮した健康支援
- (9) 女性に対するあらゆる暴力の根絶

**柏市DV対策基本計画**

## 推進

### 推進体制

#### 男女共同参画推進体制の充実

- (1) 計画の推進体制の強化
- (2) 男女共同参画センターの運営
- (3) 計画の効果的な進行管理

#### 市内の男女共同参画の推進

- (4) 男女共同参画推進市内連絡会議の充実
- (5) 市職員の意識の向上

## 目 次

◆数値目標・実績【基本課題】	4
◆クローズアップ施策	6
◆データ資料	8
◆具体的な施策の実施状況【全施策】	
(1) 政策・方針決定の場への女性の登用促進（施策番号1～8）	11
(2) 防災・地域活動、雇用等あらゆる分野への女性の参画の推進 （施策番号9～19）	15
(3) 男女が共に担う家庭・地域づくり（施策番号20～24）	20
(4) 男女が平等に仕事と生活を両立できる環境づくり （施策番号25～48）	22
(5) 男女平等の視点に立った意識改革と社会制度・慣行の見直し （施策番号49～56）	35
(6) 男女平等教育の推進（施策番号57～72）	39
(7) 人権の尊重（施策番号73～82）	45
(8) 性差に配慮した健康支援（施策番号83～91）	50
(9) 女性に対するあらゆる暴力の根絶（施策番号92～107）	55
◎ 男女共同参画推進体制の充実（施策番号108～120）	63

## 数値目標・実績【基本課題】

基本目標	基本課題	施策の方向性	施策	指標					目標との差	
				項目	平成27年4月 計画策定時	平成28年4月	平成29年4月	平成32年4月 計画目標		
I 男女が活躍できる環境づくり	1. 女性の活躍促進 政策・方針決定の場へ 男女が平等に参画する  <b>重点課題</b>	(1) 市の政策・方針決定過程への女性の積極的参画と登用促進	1 政策・方針決定の場への女性の登用促進	市の女性管理職の割合(一般行政職)	3.6%	6.7%	11.0%	15.0%	4.0%	
			2 女性のエンパワーメントに向けての環境整備	附属機関で女性委員が35%以上の割合	53.0%	57.0%	50.8%	65.0%	14.2%	
		(2) 防災・地域活動、雇用等あらゆる分野への女性の参画の推進	1 防災に関する政策・方針決定過程への女性の参画	防災推進員における女性の割合	8.9%	8.7%	8.3%	25.0%	16.7%	
			2 男女共同参画の視点に立った地域防災計画等の見直し 3 雇用における女性の参画促進 4 農業における男女のパートナーシップの確立と起業家への支援 5 地域活動における女性の参画促進	町会長・自治会長・区長等における女性の割合	7.0%	7.0%	8.0%	15.0%	7.0%	
	2. 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進 男女の働き方を見直し、仕事と生活の調和を目指す	(3) 男女が共に担う家庭・地域づくり	1 家庭生活・地域活動への男女共同参画の推進	市職員の子供休暇の平均取得日数	1.3日/年(平成25年度)	2.7日/年(平成28年度)	2.4日/年(平成29年度)	3.0日/年(平成31年度)	0.6日	
				ママ/パパ学級(両親学級)参加者数	1,043人	938人	1,044人	1,200人	156人	
		(4) 男女が平等に仕事と生活を両立できる環境づくり	1 仕事と生活を両立できる環境づくり	認可保育園等の国基準の待機児童数(人)	0人	0人	0人	0人	目標値達成	
			2 仕事と生活を両立できる意識づくり	特別養護老人ホーム整備床数	1,414床	1,465床	1,515床	1,834床(平成32年度)	319床	
	II 互いを尊重しあう意識づくり	3. 男女共同参画を目指す教育・学習の推進 男女平等意識を高める	(5) 男女平等の視点に立った意識改革と社会制度・慣行の見直し	1 男女平等意識をつくるための啓発活動の充実	啓発事業への若い世代(20歳~40歳代)の参加割合	28.0%	46.0%	53.0%	50.0%	目標値達成
				2 社会制度・慣行の見直し						
(6) 男女平等教育の推進			1 家庭教育における男女平等意識の啓発	進路や職業を選択する際、性別を意識せずに選択した人の割合	62% ※平成26年度市民意識調査結果より	—	—	75.0%	※平成32年度に市民意識調査を実施予定	
		2 保育園・幼稚園における男女平等教育の推進 3 学校における男女平等教育の推進 4 社会における男女平等に関する生涯学習の推進	男女共同参画に関する企画展示	—	3回/年	3回/年	3回/年	目標値達成		
4. 人権に対する配慮 人権と性差を尊重する		(7) 人権の尊重	1 心の健康支援の充実	精神保健福祉に関する出前講座等の受講者数	372人	232人	629人	500人	目標値達成	
			2 人権に関する啓発とメディアにおける人権への配慮							
		(8) 性差に配慮した健康支援	1 性差に配慮した健康支援	性の商品化を人権侵害と考える人の割合	55.6% ※平成26年度市民意識調査結果より	—	—	70.0%	※平成32年度に市民意識調査を実施予定	
	2 性と生殖の健康・権利に関する啓発									
(9) 女性に対するあらゆる暴力の根絶 <b>柏市DV対策基本計画</b>	1 被害者の支援	乳がん検診の受診者数	24,485人	25,865人	25,678人	26,000人	322人			
	2 被害者・加害者を生まない教育	市立中学校でのデートDV講座の開催	—	3校/年	2校/年	7校/年	5校/年			
推進体制	男女共同参画推進体制の充実	(1) 計画の推進体制の強化 (2) 男女共同参画センターの運営 (3) 計画の効果的な進行管理	① 計画の推進体制の強化	男女共同参画推進庁内連絡会議研修会の数	1回/年	2回/年	1回/年	2回/年	目標値達成	
			② 男女共同参画センターの運営 ③ 計画の効果的な進行管理							
	庁内の男女共同参画の推進	(4) 男女共同参画推進庁内連絡会議の充実 (5) 市職員の意識の向上	① 男女共同参画推進庁内連絡会議の充実	男女共同参画センター企画の講座の受講者	—	124人/年	175人/年	700人/年	525人/年	
			② 市職員の意識の向上							
			③ 性別にとらわれない職員の採用・配置 ④ 関係機関との連携 ⑤ 男女共同参画条例に関する情報収集	男女共同参画センターの認知度	—	—	—	30%	※平成32年度に市民意識調査を実施予定	

具体的な 施策番号	総評
1～19	<p>◆ 平成29年度推進状況 市の女性管理職の割合が大幅に増加している。背景としては、女性管理職同士の意見交換会、若手女性職員のためのキャリアデザイン講座の実施、女性職員が管理職を意識できるような人事配置などを実施した結果である。 一方、附属機関での女性委員が35%以上の割合が前年度より減少となっている。これは市の附属機関運営要領の改正により、附属機関の対象が増加したためである。また専門分野によっては女性が少ないなどがあり、女性の登用に一層の働きかけが必要である。</p> <p>◆ 成果や課題 初年度の実績で各課の女性の活躍推進に向けた施策や働きかけの成果が表れているので、目標達成に向けて、継続的な働きかけが必要であると考えます。 市内関係課への働きかけは比較的効果が出やすい傾向であると考えます。事業所、市民に向けた一層の働きかけや啓発が必要である。</p>
20～48	<p>◆ 平成29年度推進状況 ママパパ両親学級の参加人数が昨年度より増加している。地域の保護者が育児の講座を通じて、保育園について知り、気軽に保育園に訪れ、保育士に育児の相談をしてもらえるようになった。 インターネットの発達により、情報が容易に取得できるようになってきている。電子親子手帳のユーザー数は平成29年度末の時点で2,420人となっており、今後も増加する見通しである。引き続き、現代社会にあった効果的な支援方法を検討していく必要がある。</p> <p>◆ 成果や課題 少子・高齢化社会に則した取組や検証が必要な中、柏市では待機児童ゼロを維持できている。今後継続して対応できるよう取組んでいく。 高齢化社会に向け、施設サービスの整備と共に、フレイル予防への取組や介護従事者の確保も課題となっている。</p>
49～72	<p>◆ 平成29年度推進状況 イベントや講座などの啓発事業に若い世代や子育て世代の参加が大幅に上昇した背景には、参加時の保育支援や保育対応、開催日時の調整等の工夫があった。進路や職業選択における性差意識を低下させるには、現状以上に女性のエンパワーメントが必要であると考えられる。 若い世代に啓発事業の参加を促す工夫が効果となって現れてきていると考える。市の全部署にこうした工夫を浸透させる意識づくりや取り組みが今後の傾向に大きく影響すると考える。</p> <p>◆ 成果や課題 若い世代が早い段階で男女共同参画の視点を持つことで、子育てに活かされ、そしてそれが次世代の意識改革へとつながり、男女共同参画社会の実現へとつながっていく。単に教育や学習の機会を増やすだけでなく、男女共同参画の視点に立った環境づくりを構築していくことも同時に課題である。</p>
73～107	<p>◆ 平成29年度推進状況 こころの健康について理解を促進するため、こころの病についての出前講座を実施。参加者が大幅に増加し、目標値を達成することができた。 乳がん検診の受診者数は減少したが、引き続き保育環境の充実などを通して安心して検診を受けられる体制作りも続けていく必要がある。 また、市民公益活動団体が独自に行っているデートDV講座については、今後、市が連携することで啓発効果が高まると考える。</p> <p>◆ 成果や課題 全体的に子育て世代や学生、高齢者など若い世代に身近な課題でもあるので、性別・年代に関わらず全ての人において身近な課題である。 特に子育て世代や若い世代への啓発については、学校など関係各署と連携した取り組みが必要である。</p>
108～120	<p>◆ 平成29年度推進状況 男女共同参画の推進拠点として、講座(13回、参加者数延べ338人)、女性に対する暴力をなくす運動啓発キャンペーン、男女共同参画フォーラム(講演会、分科会参加者合計222人)等を行い、男女共同参画の推進や男女共同参画センターの周知に向けた啓発、相談(相談者数延べ374人)事業に積極的に取り組んだ。</p> <p>◆ 成果や課題 アクセスも良いセンターで様々な事業を展開していくことで、センターの周知及び男女共同参画について広く市民へ周知することができた。引き続き、パレット柏という様々な世代が利用する場所にある利点を活かし、情報発信や啓発事業への特に若い世代の参加促進に努めていくと共に、関係機関との連携強化を図り、市職員の意識の向上を図っていくことが必要である。</p>

# クローズアップ施策

## 女性管理職の育成

女性職員が能力を十分に発揮できるような職場環境を形成するため、所属長の意識改革を行うとともに、平成29年度からは「女性職員のためのキャリアデザイン研修」を実施し、そのフォローアップ研修として「女性管理職と若手職員の交流の場」を開催  
女性職員のキャリア形成を支援！



### 気になるデータ

#### 女性管理職の割合 **UP**↗

平成27年度	平成28年度	平成29年度
3.6%	6.7%	11%

#### 女性管理職と若手職員の交流の場（受講者）

**新規  
事業**

平成29年度  
20人

#### 女性職員のためのキャリアデザイン研修（受講者）

**新規  
事業**

平成29年度  
123人

## 「はぐはぐ柏」をLINE配信

「はぐはぐ柏」とは子育てに関する行政情報や子育て世帯向けのイベント、遊び場などの最新情報を発信するWEBサイトで、平成21年度に開設。平成29年度の閲覧数は1,234,649件  
平成29年6月1日からは、新規事業として多くの子育て世代に使用されている無料通話アプリ「LINE」を活用！「はぐはぐ柏」の更新情報を配信し、子育てのサポートはもちろん、男性の育児参加を支援！



**LINE** QRコード

### 気になるデータ

#### はぐはぐ柏閲覧数 **UP**↗

平成28年度	平成29年度
117万件	123万件

#### LINE登録

**新規  
事業**

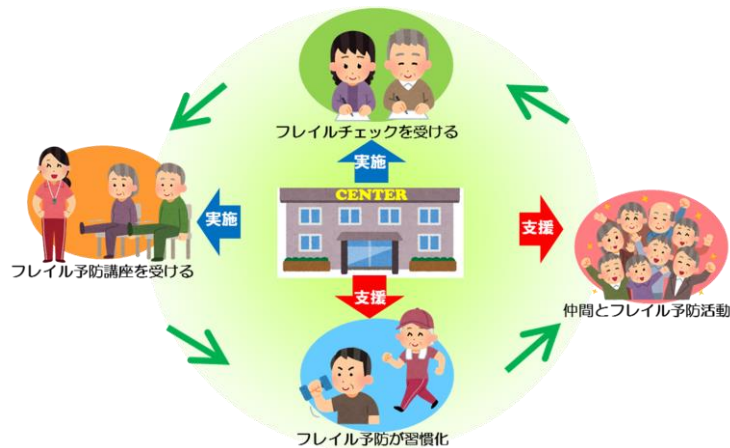
平成29年度  
1,568人



柏発

# 「フレイルチェック」の推進

「フレイルチェック」は、平成24年度から東京大学が柏市で行っている大規模調査（柏スタディ）の知見をもとに開発された測定手法で、平成27年度から実施「指輪っかテストとイレブンチェック」という「簡易チェック」と、機器などを使って測定する「深掘チェック」で構成測定は「かしわフレイル予防サポーター」（平成29年度末時点で104名）が行っており、「市民の手による市民のためのフレイル予防」の取り組みとして、全国から注目されている！



「フレイル」とは、健康と要介護状態の間の「虚弱」のことで、適正な対策で「健康」に戻すことも可能な状態

## 気になるデータ

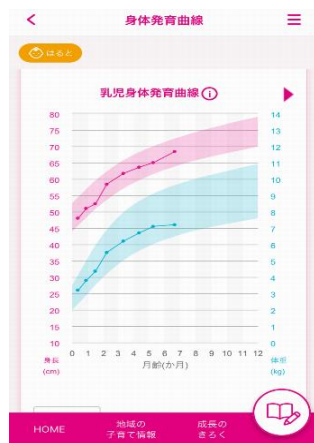
フレイルチェック講座  
(回数・参加者)



平成27年度	平成28年度	平成29年度
17回	42回	46回
449人	843人	847人

# 電子親子手帳の普及

「電子親子手帳」とは、平成25年度から全国に先駆けて導入したスマートフォンやパソコン向けのWEBサービス！  
子どもの成長、健康データ、予防接種の記録を一元管理し、柏市が実施する子育てイベント情報も配信  
母親に限らず父親なども子どもの成長やイベント情報を共有でき、父親の育児参加をサポート！ユーザーは増加中！



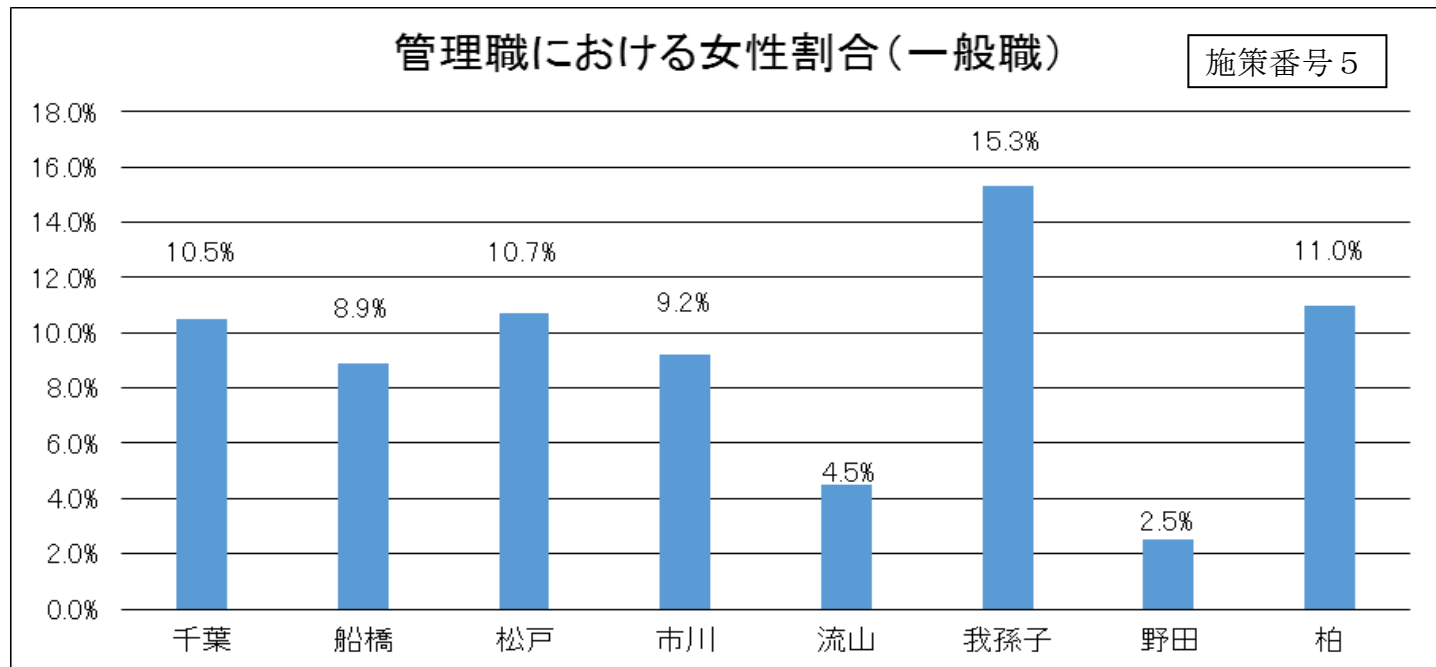
## 気になるデータ

ユーザー数

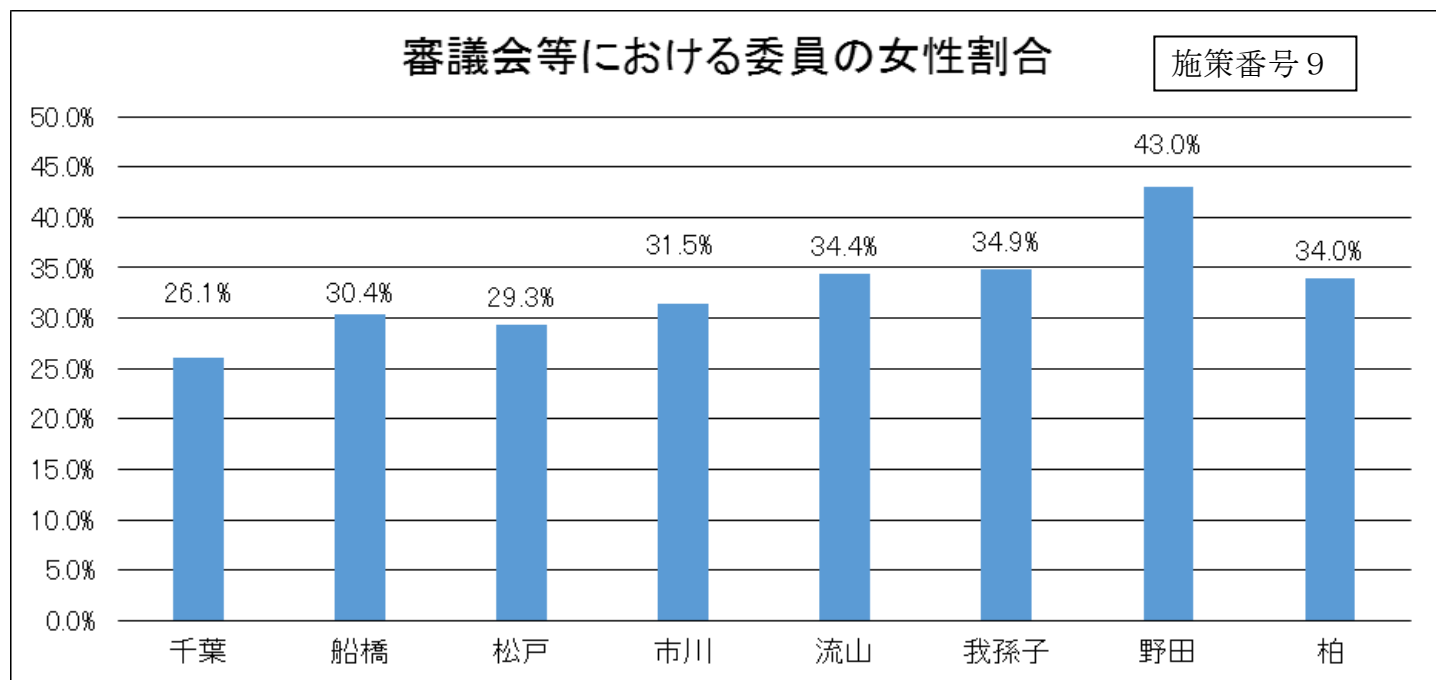


平成27年度	平成28年度	平成29年度
856人	1,678人	2,240人

①女性の活躍推進【重点課題】



平成29年4月1日現在（千葉県男女共同参画白書データを基に作成）



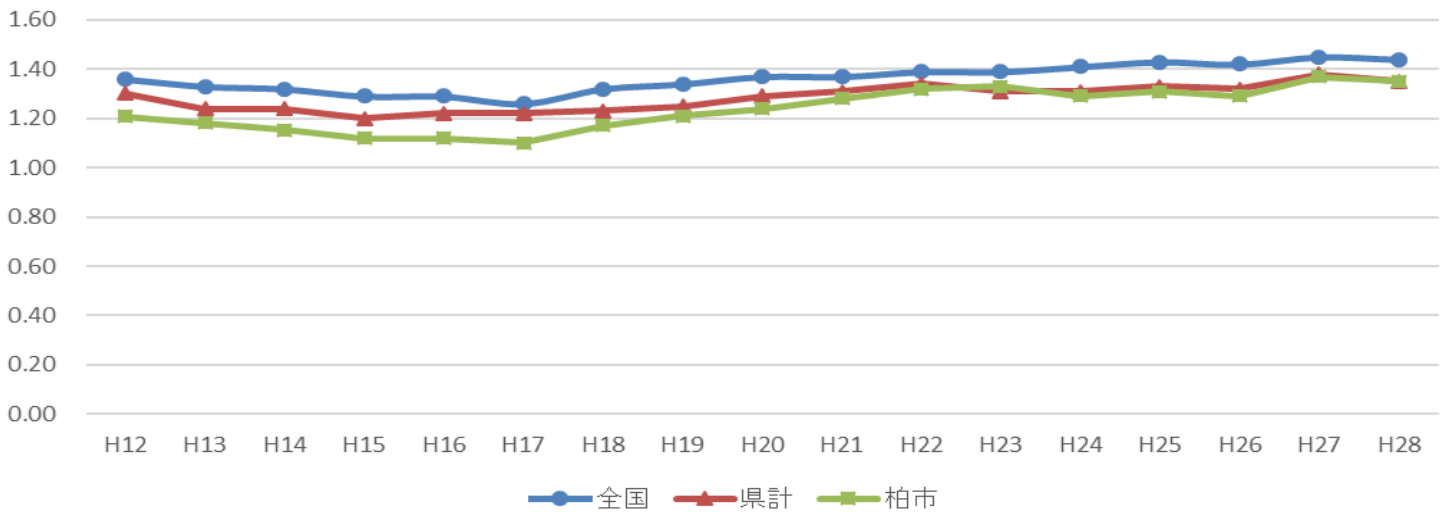
平成29年4月1日現在（千葉県男女共同参画白書データを基に作成）



# 柏市の状況

## ②仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

### 合計特殊出生率



## ③男女共同参画を目指す教育・学習の推進 ～多様なイベント・講座等の実施～

施策番号49

第25回 柏市男女共同参画フォーラム

**講演会** 12:30～16:10 定員 100名 (申込必)

大崎 麻子 さん  
東京政経 シェンゲン専門室 国際学校入学生務教授

**誰もが生きやすい社会とは**  
～世界から見た日本はどんな国～

**分科会** 16:40～16:40 (各分科会とも申込必、定員以上の応募時は抽選による) 分科会の詳細は要項をご覧ください

- 1 女性が働く社会！ あなたは働いていますか？  
～「月-9時-5時」をこなして来たあなた～  
講師 石橋 さくらさん 定員 30名
- 2 なかなか休めないあなたへ 「心のケア講座」  
あなたと、そして気になる人や家族のために  
講師 小原 節美さん、NPO法人メンタルスクエアー 定員 30名
- 3 女性のための護身術 ～力から心と身体を守る～  
講師 千葉 真智さん、よくし課レディ「おまほーし」 定員 30名
- 4 子どもの被害に心を痛めている あなたへCAPおとなワークショップ  
講師 CAPなのはな 定員 30名
- 5 DVする人・される人 ～DV加害者と被害者のあるもの～  
DVは被害者のものつれ？ 誰かかきやさない日  
講師 山口のり子さん、アムアール 定員 30名
- 6 LGBTを知っていますか？ 多様な性を尊重しようために  
講師 実行 美穂さん、道と美穂事務所 定員 30名

2017 11月25日(土) 会場 バレット柏 JR-東武線 柏駅南口徒歩3分 参加費 無料 保育 1歳以上の未就学児 要申込 先着15名 11/10(金)締切  
12:30～16:40 申込 12:15

主催 第25回男女共同参画フォーラム実行委員会、柏市 共催 柏市男女共同参画センター、電話 04-7167-1127

ママを楽しみながら、もっと輝くワタシになる

**ワタシへのごほうび講座** In柏

平成29年 9/5～10/3 毎週火曜日  
午前9:45～午前11:45(全5回講座)  
場所: 柏市男女共同参画センター(バレット柏内)

対象 柏市在住・在勤・在学の未就学児のお子さんを持つ女性20人(申込み先着順)

日時 8月2日(水)午前9時から電話で申込み ※詳しくは裏面参照

保育 1歳以上の未就学児15人(要予約、先着順)  
希望される方は8月22日(火)までに電話でお申込みください。

主催・問合せ ◆ 柏市男女共同参画センター TEL. 04-7167-1127  
この講座は「NPO法人パートナーシップながれがらみ」が委託を受けて企画・運営いたします。

子育ての経験者から形迹者にチャレンジ!

**一時保育ボランティア養成講座**

子育ての経験者から形迹者にチャレンジ!

少いお子さんばかりの月が機会やイベントに参加するとき、参加者のお子さんの保育を担当して下さる有償ボランティアの養成講座です。子どもの成長や保育者の役割など、講座やワークショップを通じて、保育の意義が改めて学びます。子育てでのキャリアを活かして新たな一歩を踏み出してみませんか。

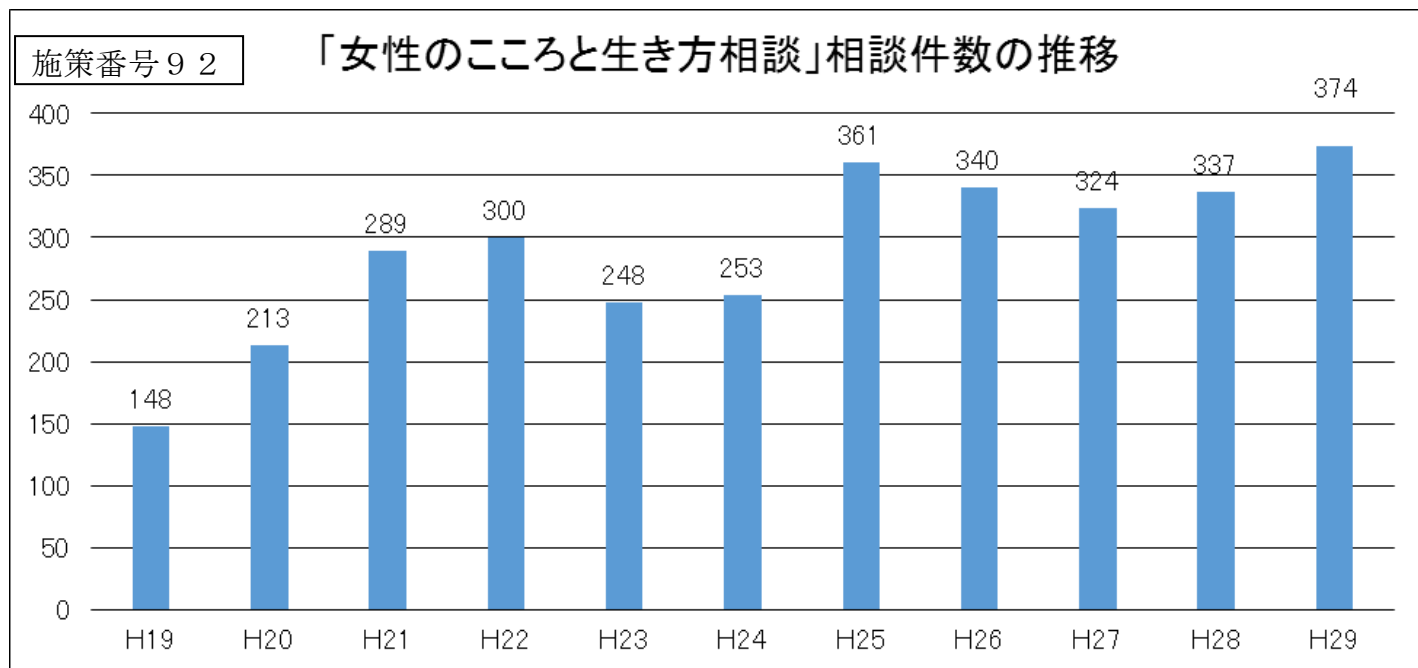
平成29年 5/30～6/27 毎週火曜日 午前9:45～11:45

対象	柏市在住・在勤の女性25名(申込み先着順)
場所	バレット柏 ミーティングルームE
申込	5月8日(月)午後00時から、電話で申し込み ※定額払込済
保育	2歳以上未就学児15人、先着順 ※希望される方は5月19日(金)までに電話でお申し込みください
主催・問合せ	柏市男女共同参画センター TEL. 04-7167-1127

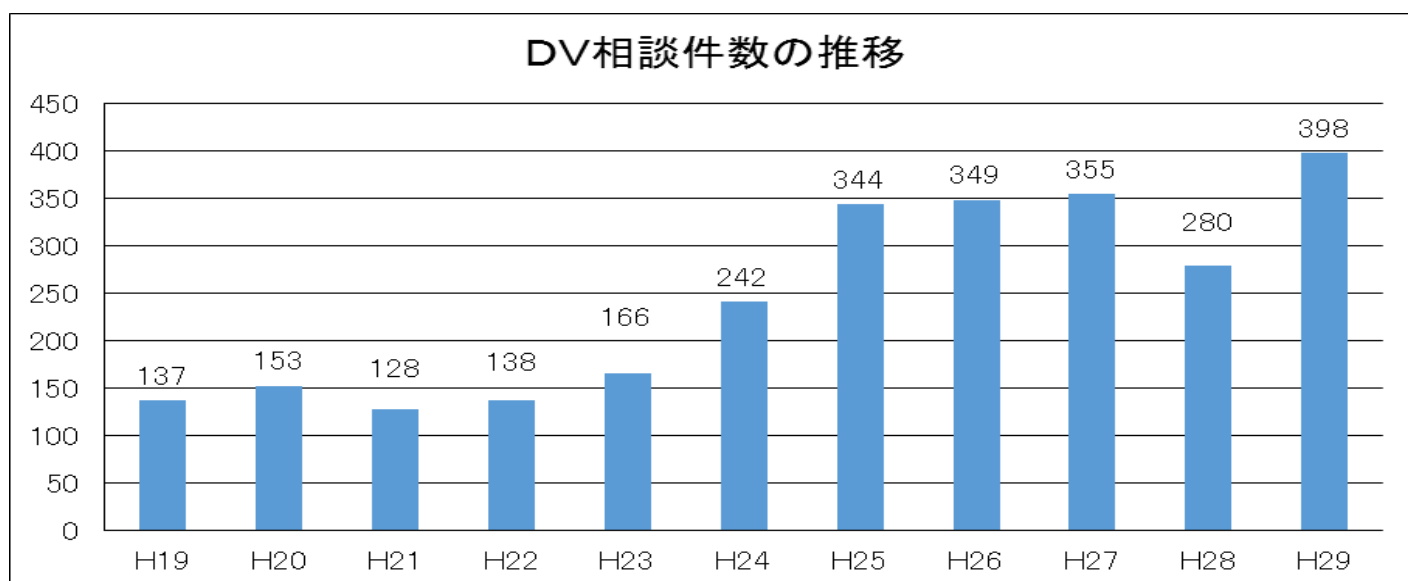
企画・運営: NPO法人 パートナーシップながれがらみ

#### ④人権に対する配慮

～女性のこころと生き方相談事業～



～柏市のDV相談件数の推移～



## ◎ 具体的な施策の実施状況

### (1) 市の政策・方針決定過程への女性の積極的参画と登用促進

#### 施策：1 政策・方針決定の場への女性の登用促進

番号 1

#### 審議会等で一方の性が35%を下回らない委員構成

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員改選のあった附属機関及び懇談会（以下「附属機関等」という。）等を所管する部署を中心に、委員の男女比率の偏向に対する配慮を働きかけた。</li> <li>平成29年度においては、附属機関等の女性委員を303名（33.7%）登用している（人数は平成29年10月1日現在における延べ数）。</li> </ul>	行政改革推進課 男女共同参画センター 審議会所管部署
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>附属機関等の委員については、専門的知識や経験等を必要とすることが多く、専門分野によっては女性がいない又は少ないなどの社会の状況により、市単独での女性委員比率の向上は容易なものではない。しかしながら、附属機関等所管部署に対し、委員改選時等に声かけをすることで、昨年度より女性委員数を若干ではあるが、増加できた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、附属機関等所管部署に対し、委員の男女比率の偏向に対する配慮を働きかけていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>附属機関の事務の手引きを作成する。</li> </ul>	

番号 2

#### 公募制度の推進と公募枠の拡大

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募委員候補者名簿の登録期間が、平成29年12月31日に終了し、新たな公募委員候補者名簿登録の更新を行った。（2期目登録者総数149名）平成29年度において、公募による委員を51名（31機関※分科会含む。）登用している（人数は平成29年10月1日現在における延べ数）。</li> </ul>	行政改革推進課 審議会所管部署
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>2期目の公募委員候補者名簿登録の募集を行ったところ、1期目と同程度の登録率を維持できた。また、無作為抽出者に限らず、希望者も名簿登録できるようにしたことから、市民の市政への参加機会の提供手段を拡大できた。公募委員候補者名簿登録制度を活用した結果、個別に広報等により公募委員を募集したときよりも、所管部署の事務負担が軽減できた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募委員候補者名簿登録制度（1期目）の結果としては、登録者数に対し公募委員就任者数が39名と就任率（26.2%）が低い。引き続き、附属機関等所管部署に対し、公募委員の導入又は公募委員枠の拡大を働きかけていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>附属機関等所管部署に対し、公募委員候補者名簿提供を積極的に行い公募制度の推進と公募枠の拡大を図る。</li> </ul>	

番号 3

クォータ制（※1）の調査・研究

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・なし	行政改革 推進課 男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・なし	
継続的課題や改善点	・附属機関等の委員については、専門的知識や経験等を必要とすることが多く、専門分野によっては女性がいない又は少ないなどの社会の状況により、市単独での女性委員比率の向上は容易なものではないため、クォータ制について他自治体等の動向を踏まえ、クォータ制について研究する。	
平成30年度 予定事業	・クォーター制の研究	

※1 クォータ制とは、ポジティブアクションの手法の1つであり、人権や性別などを基準に一定の人数や比率を割り当てる制度のことです。

番号 4

先進市の取り組みの研究

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・県の会議や研修会などを通じて各市の実施事業や取り組みについて意見交換や情報収集を行った。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・県を中心とした各市の担当者との情報共有や懸案事項を積極的に共有化するなど関係部署・機関との連携強化に努めた。	
継続的課題や改善点	・引き続き、各市の取り組み（特に最近では相談事業における男性相談窓口の設置状況・対応実績など）関係部署との連携強化・情報共有に努めながら相談体制の充実を図っていく。	
平成30年度 予定事業	・引き続き、各会議等を通じ、情報交換や研究を行っていく。	

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職選考の対象者及び所属長への管理職選考受験の案内</li> <li>所属長等による計画的な人材育成</li> <li>管理職選考受験への後押し</li> <li>女性管理職同士の交流の場の設定（年2回）</li> <li>女性管理職の計画的な育成のための人事配置上の配慮</li> <li>女性職員のためのキャリアデザイン研修の実施 （若手女性職員の育成）（受講者126人）</li> </ul>	人事課
具体的計画内容	<p>・女性職員がその能力を十分に発揮できるような職場環境を形成するため、重要な役割を担う所属長の意識改革を図るとともに、女性職員が管理職を意識したキャリアを積んでいけるよう、研修の実施や人事配置における配慮を行った。</p>	
継続的課題や改善点	<p>・女性職員のキャリアプランに対する意識醸成のため、意識啓発に向けた支援を行う必要がある。</p>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度実施事業内容に同じ</li> </ul>	

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>イクボス研修（新任所属長対象）</li> <li>女性管理職同士の意見交換会（年2回実施）</li> <li>女性職員のためのキャリアデザイン研修の実施 （若手女性職員の育成）（受講者126人）</li> <li>若手女性職員と女性管理職の交流の場の設定 （2回：参加者20人）</li> </ul>	人事課 男女共同 参画セン ター
具体的計画内容	<p>・女性職員がその能力を十分に発揮できるような職場環境を形成するため、重要な役割を担う所属長の意識改革を図るとともに、女性管理職が悩みや情報を共有できる交流の場を設定し、サポートし合えるネットワークづくりを行った。 また、若手女性職員を対象に、若手職員の段階から昇任・昇格を含めたキャリア形成を意識してもらうためのキャリアデザイン研修を実施したほか、管理職を目指したきっかけや家庭生活との両立などについて女性管理職と意見交換できる場を設け、管理職への意識付けを図った。</p>	
継続的課題や改善点	<p>・上記実施内容の実施を継続する一方で、女性管理職の登用に向けた人材育成及び意識啓発を同時に行っていく必要がある。</p>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度実施事業内容に同じ。</li> </ul>	

施策：2 女性のエンパワーメントに向けての環境整備

番号 7

女性人材リストの整備・活用

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独自に一時保育を依頼できる一時保育人材リストを活用し、自主事業や庁内各課の会議の際などに一時保育をつける場合に活用した。</li> <li>・ 附属機関等の市民公募リストを作成している関係課と連携して男女共同参画を推進することで各課が委員を委嘱する際に女性人材の積極的登用を促した。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他課と連携を図り、庁内に広く周知できた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ センターで多岐にわたる女性人材リストを直接作成することはなかなか困難ではあるが、庁内関係各課が独自に整備している女性人材リストの把握をし、活用を促進していくことが必要。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続して、関係部署と連携して女性人材リストの整備・活用を促進していく。</li> </ul>	

番号 8

男女共同参画センターでの講座の開催

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一時保育ボランティア養成講座（全5回）</li> <li>・ ワタシへのごほうび講座（全5回）</li> <li>・ DV防止講座～暴言による子どもへの影響～</li> <li>・ 防災講座</li> </ul>	男女共同 参画セン ター 関係課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一時保育ボランティア養成講座（全5回） 参加者延べ50人</li> <li>・ ワタシへのごほうび講座（全5回） 参加者延べ46人</li> <li>・ DV防止講座～暴言による子どもへの影～ 参加者17人</li> <li>・ 防災講座 参加者19人</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い子育て世代に積極的参加を促すには、保育の受付が必須であると感じる。引き続き、講座実施時には託児が可能な環境を整え、企画講座を実施していく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごほうび講座（全5回）</li> <li>・ ハラスメント講座（全2回）</li> <li>・ 女性のためのキャリア支援講座（全3回）</li> <li>・ ジェンダー講座（全1回）</li> </ul>	

## (2) 防災・地域活動，雇用等あらゆる分野への女性の参画の推進

### 施策：1 防災に関する政策・方針決定過程への女性の参画

番号 9

#### 防災会議等への女性の登用促進，および積極的に女性の声を反映できる仕組みの検討

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災会議・国民保護会議の委員への女性の登用                      &lt;平成29年度&gt;                      [防災会議]6名/43名(13.95%)→5名/43名(11.62%)                      [国民保護会議]7名/41名(17.07%)                      →7名/41名(17.07%)</li> </ul>	防災安全課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度委員の選任においては，防災会議における女性委員数は1名減少し，国民保護協議会における女性委員数は横ばいとなった。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員の選任においては，必ずしも代表者に限らず管理職や役員の女性の登用を図る。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成30年度は，平成31年2月に柏市防災会議の開催を予定している。また，国民保護協議会は平成18年度以降開催していない。</li> </ul>	

番号 10

#### 女性消防職員の採用，人材育成と管理職への積極的登用

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度消防職員採用試験では3名の女性が受験し，2名が平成30年4月1日採用となった。</li> <li>・ 平成29年度に千葉県消防学校初任科に女性職員1名が入校，消防大学校女性活躍推進コースに女性職員1名が入校した。</li> </ul>	消防局
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度に千葉県消防学校初任科に女性職員1名が入校し，消防職員としての知識，技術の習得ができた。</li> <li>・ 消防大学校女性活躍推進コースに女性職員1名が入校し，女性活躍推進について更なる知識を深め，他市消防本部との連携強化を深めた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き，女性受験者の拡大を図る。</li> <li>・ 女性職員の千葉県消防学校や消防大学校入校について検討し，人材育成の強化を図る。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き，女性受験者の拡大を図る。</li> <li>・ 女性職員の千葉県消防学校や消防大学校入校について検討し，人材育成の強化を図る。</li> </ul>	

番号 11

## 女性防災リーダーの育成

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の育成に努め、平成29年度末で、223組織が結成されており、前年度に対して1組織増加した。なお、その内、防災推進員等の役目を担っている女性の数は34名（防災推進員合計は409名）である。</li> </ul>	防災安全課 男女共同 参画セン ター
具体的な計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に比べ防災推進員の女性の人数が7名減少した。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、防災講習会等への女性の積極的な参加を呼びかけ、女性リーダーの必要性について広報していく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災講習会等を年70回以上（平成29年度は70回）実施することを目標に、防災意識の向上を図っていく。</li> </ul>	

## 施策：2 男女共同参画の視点に立った地域防災計画等の見直し

番号 12

## 地域防災計画等の点検および見直し

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年2月に地域防災計画を修正。女性については、女性防災リーダーの指名率の向上を掲げている（現状8.3%から平成32年までに25%へ）。</li> </ul>	防災安全課 関総曙 男女共同 参画セン ター
具体的な計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災計画に、男女共同参画の推進として、災害時における女性をめぐる諸問題を改善するため、各組織には女性の積極的な登用と、男女共同参画の視点に配慮した防災対策を推進するよう明記している。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も積極的に女性防災リーダーの指名に努める。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女双方に十分に配慮した視点を踏まえるよう、引き続き、地域防災計画の点検及び見直しを検討していく。</li> </ul>	

番号 13

## 災害時の女性問題及び解決策の検討避難所生活等を含めた災害時の男女共同参画の視点に立った配慮

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に避難所におけるプライバシーの保護（特に女性）への配慮から、間仕切りを追加購入した。</li> </ul>	防災安全課 男女共同 参画セン ター
具体的な計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性や要配慮者用の備蓄品の充実を図ることができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も要配慮者に向けた備蓄品目の拡充を検討していく、また、自助としての啓発を強化していく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度も間仕切りの追加購入を予定している。</li> </ul>	



施策：3 雇用における女性の参画促進

番号 14

ポジティブ・アクション普及に向けた情報提供

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・企業における女性活躍の推進として、積極的な女性管理職の登用や活躍の拡大を図るべく、今後の企業表彰の方法などをふまえ検討した。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・市内企業のワークライフバランスの状況や企業が市に対して求めているものを知り、その調査結果を基に検討を行っていくという点で大変有効であったと思う。	
継続的課題や改善点	・ワーク・ライフバランスとの兼ね合いや、女性の活躍・能力開発につながるよう、市内企業に向けて具体的に情報提供等を実施していく。	
平成30年度 予定事業	・従来の方法とはまた違ったライフ・ワークバランスの啓発を実施するために、企業にとってより具体的な情報提供を行えるよう、商工会議所などと連携しながら、検討していく。	

番号 15

就労に関する情報の提供

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・就労支援サイト「わくわくかしわ」の運営 ・ハローワーク松戸が作成する「週刊求人一覧表」を関係部署及び関係機関に周知	商工振興 課
具体的評価内容	・就労支援サイトの運営及びハローワーク松戸から提供される求人情報の周知により、情報提供に努めた。	
継続的課題や改善点	・就労支援サイト「わくわくかしわ」の運営見直し	
平成30年度 予定事業	・就労支援サイト「わくわくかしわ」の運営 ・ハローワーク松戸が作成する「週刊求人一覧表」を関係部署及び関係機関に周知	

番号 16

ハローワークと連携した就労支援活動の強化

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・ハローワーク松戸管内の事業者、商工会議所、自治体等により構成される松戸公共職業安定雇用促進協力会に参加として参画し、教育機関との求人・求職情報交換会、企業見学会等を実施した。	商工振興 課
具体的評価内容	・ハローワーク及び関係機関と連携し就労支援活動を実施した。	
継続的課題や改善点	・引き続き就労支援活動の強化に努める。	
平成30年度 予定事業	・松戸公共職業安定雇用促進協力会への参画	

施策：4 農業における男女のパートナーシップの確立と起業者への支援

番号 17

農業委員・農協役員への女性登用の働きかけ

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、女性農業委員2名を登用</li> <li>・「農業委員会だより」に女性コーナーを設け、女性農業委員による取材・編集を行い、年2回発行</li> <li>・県等主催の女性農業委員研修会へ積極的に参加</li> </ul>	農業委員会 農政課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「農業委員会だより」に女性コーナーにおいては、女性農業者を紹介することにより、女性が活躍している状況を幅広く広報することができた。</li> <li>・女性農業委員による積極的な女性農業委員研修会への参加により、農業委員の意識向上につながった。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き女性農業委員の登用を継続していく</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年7月には制度改正後、初めての農業委員会の新体制が組まれる。女性農業委員の登用に向け積極的に働きかける。</li> </ul>	

番号 18

起業に関する情報の提供

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業家養成セミナー「かしわ創業塾」の開催（柏商工会議所・柏市沼南商工会と共催）</li> <li>・市ホームページにおいて、麗澤大学と連携し、市内ベンチャー企業紹介ブログ「かしわ起業家物語」を掲載</li> </ul>	商工振興課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かしわ創業塾」の開催及び市ホームページに「かしわ起業家物語」を掲載し、情報の提供に努めた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き企業に関する情報の提供に努める。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業家養成セミナー「かしわ創業塾」の開催（柏商工会議所・柏市沼南商工会と共催）</li> <li>・市ホームページにおいて、麗澤大学と連携し、市内ベンチャー企業紹介ブログ「かしわ起業家物語」を掲載</li> </ul>	

施策：5 地域活動における女性の参画促進

番号 19

町会・自治会・市民活動団体・PTA等への働きかけ

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任町会長等勉強会の開催</li> <li>『町会・自治会・区 役員の手引き』の作成及び配布</li> <li>・柏市民活動フェスタ&amp;ぽかぽか市2017の開催</li> <li>市民活動講座の開催</li> </ul>	地域支援課 男女共同参画センター 協働推進課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手引きを作成・配布し、町会長等及び役員への女性の登用を促す内容を記載した。</li> <li>・平成29年度町会・自治会・区長等の294名のうち、女性は24人である（平成28年度の22人より2名増加）。</li> <li>・柏市民活動フェスタ&amp;ぽかぽか市2017を開催することで市民への活動PRの働きかけができた。また、市民活動講座では団体の活動がよりステップアップしたものとなるよう講座を展開した。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、情報提供の機会の拡充に努める。</li> <li>男女を問わず、一層の情報提供を行い、イベントの周知、参加の促進を図る。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、以下を実施予定</li> <li>・新任町会長等勉強会の開催</li> <li>・『町会・自治会・区 役員の手引き』の作成及び 配布</li> <li>・柏市民活動フェスタ2018</li> <li>・市民活動フリーマーケットぽかぽか市</li> <li>・市民活動講座</li> <li>・市民活動交流サロン</li> </ul>	

### (3) 男女が共に担う家庭・地域づくり

#### 施策：1 家庭生活・地域活動への男女共同参画の推進

番号 20

#### 地域活動・市民活動の情報収集と提供、地域コミュニティ活動の推進

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公益活動ガイドブックの作成及び配布</li> <li>柏市民活動ニュースレターの発行</li> </ul>	協働推進 課 地域支援 課
具体的計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公益活動ガイドブック作成及び配布，柏市民活動ニュースレターの発行により情報提供を行い，市民活動への参加の促進，拡大を図った。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き，情報提供の機会の拡充に努める。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>柏市民公益活動ガイドブックの作成</li> <li>柏市民活動ニュースレターの発行</li> </ul>	

番号 21

#### ホームページや市民交流センター運営等による市民活動の情報発信・支援

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>柏市民活動情報サイト「かしわん，ぼっ？」の公開</li> <li>市民活動サポートコーナーによる市民活動の情報発信及び相談支援</li> <li>パレット柏指定管理者による市民活動に関する企画の実施</li> </ul>	協働推進 課
具体的計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報サイトや市民活動サポートコーナー窓口等により情報提供を行い，市民活動への参加促進，拡大を図った。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報サイト等による情報発信・支援を促進させ，市民活動周知に繋げていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>柏市民活動情報サイト「かしわん，ぼっ？」の公開</li> <li>市民活動サポートコーナーによる市民活動の情報発信・相談支援</li> <li>パレット柏指定管理者による市民活動に関する企画の実施</li> </ul>	

番号 22

#### 町会・自治会・区等への勧誘

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>新任町会長等勉強会の開催</li> <li>『町会・自治会・区 役員の手引き』の作成及び配布</li> </ul>	地域支援 課
具体的計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>新任町会長等勉強会を開催し，手引きを作成・配布することにより，男女を問わず，地域活動に参加する機会を広げた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き，情報提供の拡充に努める。</li> </ul>	

平成30年度 予定事業	・引き続き、上記内容を実施予定	
----------------	-----------------	--

番号 23

育児に関する講座

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の家事・育児・介護等への積極的参画を促し、子育ての大切さを共有し、安心して子どもを産み育てていくための事業を展開した。</li> <li>1. 「ママパパ学級（育メン編）」20回 受講者数972人</li> <li>2. 「離乳食教室」 実施回数28回 受講者数888人</li> <li>3. 「ママパパクッキング」実施回数6回 受講者数72人</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立23園において育児講座実施 （全58回・参加者2,511人）</li> <li>内容：離乳食の作り方、歯磨き、病気の予防、叱り方、わらべうた、製作・手作りおもちゃ、歌、お話会、絵本の読み方与え方、親子ヨガ、ダンス（フラ・ヒップホップ）、リトミック、親子ふれあい遊びなど。</li> </ul>	地域健康 づくり課 保育運営 課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠・出産・育児に関する正しい知識、情報の提供により、子育て家庭の安心した出産を支援している。事業を通して、父親の主体的な育児参加を働きかけ、理解促進を啓発した。夫婦が共に協力し、家族の健康づくりに取り組む重要性を伝えることができた。</li> <li>・地域の保護者が育児講座を通じ、保育園について知り、気軽に保育園を訪れたり（園庭開放に参加）、保育士に相談をしてくるようになった。支援の必要な親子に対し、必要な情報を提供し関係機関に繋げることができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化・共働きの増加等の社会、家族形態の変化により、子育て家庭の抱える不安が増大し、子育ての負担感や孤立感の高まりがみられる。妊娠・出産・育児の正しい知識、情報の提供が必要だが、自由参加、講義形式の講座では、ニーズの低い家庭の参加は望めない。個別ニーズに応じた効果的な支援のあり方について、見直しが必要である。</li> <li>・参加者から好評で人気講座（親子ヨガなど）は、同じ人が他の園を複数回参加している。限られた予算・人を効率的に運用するために、実施方法を検討する。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ママパパサロン」 実施回数16回</li> <li>・「離乳食教室」 実施回数16回</li> <li>・「サタデーゆりかごサロン」 実施回数16回</li> <li>・「8か月児相談事業」 実施回数48回</li> </ul> <p>※その他、ハイリスク妊婦等に対する妊娠期のサロンを実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の「子育て支援の一環としての事業」。育児講座をきっかけに日常の生活で保育園を利用（園庭開放・育児相談）してもらうよう、園単位や地区ごとの実施とし、広くPRしていく。</li> </ul>	

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターが地域の高齢者サロンや関係団体などに介護保険制度や地域包括支援センターの業務についての講座等を実施している。また、一部の地域包括支援センターでは、独居の男性を対象とした交流会、男性介護者の会等を実施している。他にも、フレイル予防介護予防出前講座のメニュー「知って得する節約術!」、介護予防日常生活支援総合事業の担い手養成研修において介護保険の話を取り入れている。</li> </ul>	高齢者支援課 福祉活動推進課 介護保険課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターでは、介護予防、権利擁護、健康に関する講座等の様々な地域講座を実施しており、介護保険の制度やサービスなどに関する講座もその一つとして実施している。サービスや支援が必要な高齢者への相談や支援につながるよう周知している。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の高齢者サロンや関係団体等とのつながりのない高齢者への周知が課題である。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センター等の活動を通じ継続して実施し、積極的に周知を行っていく。</li> </ul>	

#### (4) 男女が平等に仕事と生活を両立できる環境づくり

施策：1 仕事と生活を両立できる環境づくり 保育サービスの充実

既存幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行 私立認可保育園の整備  
延長保育 病児保育 病後児保育 産休明け保育 こどもルーム

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>私立幼稚園から幼保連携型認定こども園に移行2園、幼稚園型認定こども園に移行1園、幼保連携型認定こども園2園、私立認可保育園2園、小規模保育事業A型1園、事業所内保育事業1園の整備を行った。</li> <li>保育室などの整備増設を行った。 光ヶ丘小こどもルームの建替、十余二小こどもルーム第二保育室の増設、柏六小こどもルーム第二保育室の増設、田中小こどもルームの増設の設計を行った。</li> <li>小学校の多目的教室等借用による保育スペースの拡充を行った</li> </ul>	保育整備課 学童保育課 保育運営課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度の整備により595人の利用定員の増加を図り、平成30年4月1日における国基準の待機児童数ゼロを達成したものの、認可保育園等への入園が保留になっている児童の数（入園保留者数）の解消にまでは至らなかった。</li> <li>施設整備により、受け入れ可能な児童数が増えた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も保育需要の分析を継続して行い、既存幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行、私立認可保育園等の整備に対する補助を積極的に実施することにより、入園保留児の解消に向けて、必要なエリアに私立認可保育園等の定員の増加を図る。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の安心，安全な居場所づくりに努める。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立認可保育園・幼保連携型認定こども園を5園程度整備する予定。</li> <li>・田中小こどもルームの増設，手賀東小こどもルームの新設を予定。</li> <li>・引き続き，小学校の多目的教室等借用による保育スペースの拡充を行っていく。</li> </ul>	

### 子育て支援事業の充実

番号 26

児童センター，地域子育て支援センター，一時保育，  
ファミリー・サポート・センター

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援センター16か所（公2，私14）で子育てサロン，育児相談を行なう。</li> <li>・一時保育事業を公立8園，私立21園で実施している。</li> <li>・各保育園で育児講座，育児相談，園庭開放，世代間交流を行った。</li> <li>・なかよし広場事業を行い，地区ごとの保育園のプレイルームを開放し，親子で遊ぶ機会を作る。</li> </ul> <p>（ファミリー・サポート・センター） 事業目的・・・子育ての援助を受けたい方（利用会員）と援助を行いたい方（協力会員）との地域における育児の相互援助活動の推進を目的とする。 実績・・・会員数1,838人（平成30年3月31日現在） （内訳：利用会員1,495人・両方会員70人・協力会員273人） 年間総援助件数9,491件</p> <p>（児童センター） 親子が自由に交流できる場の提供や交流の促進，子育てに係る相談や情報提供，講座などの事業を実施した。 実績：総利用者数108,073人（平成30年3月31日現在） （内訳：しこだ22,640人・豊四季台18,630人・光ヶ丘遊戯室6,345人・永楽台17,937人・高柳18,202人・南部みんなの広場18,384人・布施遊戯室4,025人・施設外事業1,888人）</p>	保育運営課 子育て支援課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ての不安や悩みを解消，共感できる，親同士の交流が図れた。</li> <li>・公立育児講座参加人数 計5,263人（公立保育園実施分2,511人・支援センター実施分2,752人）</li> <li>・地域子育て支援センター利用人数 9,437人</li> <li>・なかよし広場事業の参加人数 253人</li> <li>・当該事業の実施により，子育てに係る負担感の軽減及び子育てで家庭における仕事と育児の両立に寄与している。</li> <li>・既存の保育サービス等と組み合わせて活用することで，多様化する働き方にも対応することができている。</li> </ul> <p>・平成28年度から親支援プログラムを開始し，生後2か月から5か月までのお子さんを初めて育てている母親を対象とした「BPプログラム」を計8回，3歳から6歳児の保護者を対象とした「ペアレント・プログラム」を計3回実施し，子育てに関する悩みや不安の軽減に寄与した。はぐはぐ柏やLINE@を見て事業に参加する人が増えた</p>	

<p>継続的課題や改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの人に参加できるように事業を実施する。子育ての情報提供をする。</li> <li>・継続的に事業周知を行うと共に入会手続きの見直しを行い、より多くの人に利用しやすい環境を整え、会員を増加させる。利用会員の様々なニーズや雇用形態に対応するため、援助する協力会員と両方会員の増加は必須となる。</li> <li>・従事者のスキルアップによる質の向上や他部署・他機関地域との連携を継続的に行っていく必要がある。小学生以上の居場所作りを具体的に検討していく必要がある。</li> </ul>	
<p>平成30年度 予定事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新設園には、一時保育事業のサービスの拡充を依頼する。</li> <li>・子育てサイト「はぐはぐ柏」や広報欲しい情報が手元に届く「LINE@」などを活用し、事業のPRを実施</li> <li>・沼南社会福祉センターで毎週1回拠点型一時預かり活動を実施</li> <li>・会員向けのフォローアップ研修を拡充</li> <li>・平成29年度に引き続き親支援プログラムを実施する。(BPプログラムは計8回、ペアレント・プログラムは計3回を実施予定)</li> <li>・小学生以上を対象に、こども目線での児童センターパンフレット作りを実施する。</li> </ul>	

番号 27

**地域ぐるみの子育て支援  
母と子のつどい**

		担当課
<p>平成29年度 実施事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の育児に関する不安・悩みの相談に応じ、親同士の交流により互いに解決し合う場を提供する子育て支援の場として実施した。 実施回数240回 参加者延数11,049人</li> </ul>	<p>地域健康 づくり課</p>
<p>具体的評価内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の柏市民健康づくり推進員等との協働実施により、子育て家庭が、地域の幅広い世代と交流できる機会が創出され、地域全体で子育てを支援する輪が広がっている。一方、自由参加の当事業では、ニーズの低い家庭の参加が望めず、実参加人数は約3割の状況である。</li> </ul>	
<p>継続的課題や改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化・共働きの増加等による、子育て家庭の不安増大への支援として、効果的な支援の見直しが必要であるため、地域全体で子育てを支援する「母と子のつどい」は柏市民健康づくり推進員主催の事業とし、別事業において支援を強化をする体制整備をした。</li> </ul>	
<p>平成30年度 予定事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市民健康づくり推進員主催の地域ぐるみの子育て支援活動として、親子の孤立防止、交流の場を提供し、各地域において実施予定。</li> </ul>	



		担当課
平成29年度 実施事業内容	<p>(子育てにこにこ電話相談)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援施策の一環として，相談専用回線を設け，妊産婦や乳幼児の健康，育児にかかわる多様な内容に対して，相談・助言を実施した。相談総数 1, 219人</li> </ul> <p>(利用者支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園在園児の保護者に対し，子育て情報を提供する。配布物…園便り・クラスだより・保健だより・給食だより等で，情報提供を行う。園内掲示物…遊び・生活の様子をクラスのボードで知らせる(文章・写真等)，給食サンプル展示，園全体の取り組みを写真や文書で掲示</li> <li>行事…保育参観(参加)・運動会・お楽しみ会等で，集団の中ですこすこ様子を見てもらう。</li> <li>懇談会…全体懇談会・個別懇談会で，家庭と園の様子を伝え合う。</li> <li>各家庭との情報交換…連絡帳のやり取り。朝夕の情報交換をし，個々のお子さんの様子を家庭と園で伝え合う。</li> <li>緊急時の情報提供…すくすくメール</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもを取り巻く家庭状況や虐待，しつけ，学校の教育上の問題などで悩みのある方の相談を受け支援を行った。(相談対応件数 1, 160件)</li> </ul> <p>(利用者支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとその保護者が，教育・保育施設やその他子育て支援サービス等を円滑に利用でき，妊娠・出産・子育てに対する不安や負担が軽減されることを目的に実施。</li> </ul> <p>実績・・・相談件数591件 (平成30年3月31日時点，平成29年5月から開設)</p>	地域健康 づくり課 保育運営 課 こども福 祉課 子育て支 援課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談事業等の実施により，子育て家庭の不安解消，主体的な子育ての支援につなげてきた。平成29年度の相談件数は前年度に比べ若干増加し，保護者の心の問題や，育児が困難な家庭事情，虐待の恐れのある相談等，個別的且つ継続的な支援を要する相談が増加している。</li> <li>・保育園の保育・教育の可視化や，定期的(月1回程度)に園からメール送信し，送信・受信の訓練を行うと共に緊急時に保護者に対して情報提供することができた。</li> </ul> <p>保健福祉部，こども部，保健所，教育委員会等の関係部署，及び児童相談所，警察，医療機関，各学校，各保育園・幼稚園等の関係機関との連携して適切に支援を実施し，虐待を未然に防ぐことが出来るよう適切に支援・対応することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子が日頃から利用するひろばで本事業を実施することで，気軽に悩みごとや困りごとの相談に応じることができ，不安感や負担感の軽減に寄与している。</li> <li>・深刻なケースを抱える親子については，ひろばを利用する中で日常的に見守ることができ，状況に応じて保健所等の専門機関と連携した対応がとれており，ひろばと一体的に事業運営を行う効果が表れている。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談内容に応じて，地域担当保健師につなぐ等の継続的な支援につなげる対応を行う。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の保育・教育の可視化 緊急時に、速やかに保護者に情報提供をすること ⇒保護者のアドレス変更や着信拒否等で、月毎に変更することがある。</li> <li>・ 相談者に対し、より具体的な助言を行っていくこと。相談対応の状況を担当内で共有し相談対応の充実を図ること。</li> <li>・ 様々な相談に対応ができるように、公的機関だけではなく民間の専門機関とも連携が取れる体制作り</li> <li>・ ひろばで相談を受けるような受動的な対応だけに限らず、親子が集まる場所に出向くような能動的な対応の検討</li> <li>・ 地域バランスを考慮した事業実施場所の拡充に向けた検討</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任の保健師、助産師による電話相談の実施。 土・日・祝日、年末年始を除く 9時から12時、13時から17時</li> <li>・ 保育園の保育・教育の可視化を目指し、引き続き丁寧な情報提供を行うと共に、緊急時のメール配信が確実に届くようにする。</li> <li>・ 児童福祉法改正に伴う支援体制の構築を実施し、関係機関とのさらなる連携強化に努め、適切に支援する。</li> <li>・ 2箇所目の新規開設に向けた事業実施場所の選定と配置する子育て支援アドバイザーの養成</li> <li>・ ひろばに来ることが出来ない親子への対応を目的とした、親子が集まる場所へ出向いた出張相談の実施</li> </ul>	

番号 29

### 要保護児童対策地域協議会関係機関との連携強化

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援対象児童等の早期発見や適切な保護・支援を図るため、関係機関が情報共有を行い連携しながら、適切に支援すること目的とする柏市要保護児童対策地域協議会を平成18年度に設置。関係機関で情報を共有し、支援等における役割を明確にすることで連携を強化している。</li> </ul>	こども福祉課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表者会議1回、実務者会議を2回、協議会対象の重篤な世帯に関する支援方針を検討する進行管理部会を6回開催し、適切な情報共有と連携強化に努めた。また、児童福祉法の改正に伴い、支援対象児童における関係機関からの迅速且つ適切な情報提供を呼びかけ、児童虐待が発生する前から支援を開始し、児童が安心して暮らすことができるよう関係機関に協力を求めた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援における具体的な役割の明確化。適切な情報共有の構築。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関を対象とした事例検証、研修会等を実施し、児童虐待における知識を深め、より具体的に対応できるよう努める。</li> </ul>	

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり親家庭の父母及び寡婦に対し、各種制度の情報提供、生活全般の相談などに応じ、その対象者に必要な支援を行った。（相談件数2,433件）</li> </ul>	こども福祉課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談者の状況により必要に応じて家庭児童相談担当、広報広報課、男女共同参画センター、生活支援課などの関係部署に同行するなど、寄り添い型できめ細やかな支援を行った。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実施においては引き続き関係各課との連携が不可欠</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度に改訂し、平成27年4月から施行した第2期柏市ひとり親家庭等自立促進計画の着実な実施につながるよう努めていく。</li> </ul>	

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>柏市HP、広報紙、チラシの作成等を通じて事業の周知を図った。</li> <li>出生時や転入時などに配布する子育てに特化した情報誌として「かしわこそだてハンドブック」を6月に35,000部発行。市役所窓口や出張所、子育て支援関連施設、市内商業施設などで配布した。また、親子の遊び場情報などをまとめた「おでかけマップ親子の遊び場2018」を25,000部発行した（交通政策課発行の柏市バス路線図マップ裏面）。</li> </ul>	こども福祉課 子育て支援課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援情報の提供や相談先を広く周知できるよう、様々な媒体を用いて情報提供を図るよう努めた。</li> <li>ハンドブックは子どもの出生手続き、転入時に配布することで子育て世帯全数へ配布。また、地域子育て支援拠点や児童センターなど子育て関連施設のほか公共施設や市内商業施設など人が多く集まる場所へ依頼し、子育てに関わる方や関心のある多くの方へ配布することができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、相談体制の充実と情報提供に努める。</li> <li>「かしわこそだてハンドブック」は、子育て家庭への漏れのない配布と同時に、子育て世代が受け入れやすいよう、読みやすさや理解しやすさ、魅力あるページ編集が必要となる。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>柏市HP、広報紙、チラシの作成等を通じて事業の周知を図る。</li> <li>「平成31・32年度版かしわこそだてハンドブック」のプロポーザル協定締結及び編集</li> <li>「かしわこそだてハンドブック」「おでかけマップ」の配布</li> <li>子育て支援のネットワーク事業により市民が編集する子育て応援情報誌の編集・発行支援</li> </ul>	

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市民健康づくり推進員の活動として、生後3～4か月頃までの赤ちゃんのいる家庭に伺い、身近な地域で安心して子育てができるように声かけを実施している。その際、柏市の母子保健サービスや地域の情報等の資料を配布し、地域で市民目線での温かな見守りと子育て支援を行っていることを伝えている。</li> </ul>	地域健康 づくり課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問・電話等による対応件数：2,713件</li> <li>・不在の場合にも電話連絡がついた場合には資料を届けるなど、情報提供を行っている。情報提供により、地域で開催している「母と子のつどい」へ参加するなどのきっかけとなっている。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転出入も多く、子育て世帯が孤立化する可能性があることが課題</li> <li>・不在や電話連絡の取り難さ、オートロックマンションなどの難しさもあるが、推進員の赤ちゃん訪問が、地域に住む親子が初めて地域とつながるきっかけとなる大切な役割と考え、地域活動として継続実施の予定</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生後3～4か月頃までの赤ちゃんのいる家庭への赤ちゃん訪問を継続実施</li> </ul>	

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサイト「はぐはぐ柏」においては、子育てに関する行政情報のほか、イベントや遊び場などの最新情報を発信した。</li> <li>・6月から無料通話アプリ「LINE@」を活用し、子育てサイトの更新情報等を配信した。</li> </ul>	子育て支 援課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイトのページ閲覧数は、年間1,234,649件で前年比69,298件増</li> <li>・LINE@登録者数は、1,568人※有効友だち数</li> <li>・保育園の入所関係の閲覧数が増えたほか、多くの子育て世代に利用されているLINE@による開設・配信により、はぐはぐ柏への誘導を進めることができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭は一定数が年ごとに入れ替わることを念頭に、より手に届きやすい方法で、適時に、わかりやすい情報提供を常に検討する必要がある。また、男性や祖父母の子育てへの参加や地域の子育て支援活動を支援するため、魅力的な情報発信ツールとなるように努める。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサイトの管理・運営</li> <li>・無料通話アプリ「LINE@」を活用した、サイト更新情報の配信</li> <li>・「Twitter」を活用した、サイト更新情報の配信</li> <li>・様々な媒体による子育てサイトの周知</li> </ul>	

番号 34

特別養護老人ホームの整備

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の特別養護老人ホームの増床（50床）を実施した。</li> </ul>	高齢者支援課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別養護老人ホームの入所待機者の改善に向けて取り組んだ。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別養護老人ホームの待機者は、平成30年3月1日現在で655人だが、施設を運営している法人からは実質的は待機者は多くないとの意見も受けている。</li> <li>第7期柏市高齢者いきいきプラン21の策定に当たり実施した待機者へのアンケートにおいて、早期の入所を希望する方は回答者の4割程度であった。そのため、特別養護老人ホームの整備を実施するにあたっては、待機者の精査を行い、必要数を検証することが重要と考える。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>第7期高齢者いきいきプラン21に計画した特別養護老人ホームの整備160床について、需給の状況を確認しながら検討を進める。</li> </ul>	

番号 35

地域包括支援センターの整備・事業の充実

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年2月に2箇所を分割増設し、市内11箇所の地域包括支援センターを設置した。また増設した2箇所は土曜日を開設し、就労している介護者の家族等がより相談しやすい体制を整備した。また、地域包括支援センターの職員を対象とした研修やセンターの評価事業を行うことでサービスの質の向上に努めた。</li> </ul>	福祉活動推進課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政評価や市民のアンケート結果は概ね良好な結果となっている。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センターの認知度を高めて、必要な市民に適切な相談と支援を行うため、継続して地域包括支援センターの周知をしていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が暮らしやすい地域づくりのために、様々な機関と連携しながら、事業の充実を図る。</li> </ul>	

番号 36

介護予防拠点の整備

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内2箇所の介護予防センターの事業の整理や体制の検討を行い、自主活動支援や相談機能の強化を図る。</li> </ul>	福祉活動推進課

具体的評価内容	・介護予防は住んでいる地域で仲間と取り組むことが重要であることから、地域団体との信頼関係が厚く、また地域援助技術を持っている柏市社会福祉協議会へ、市内2箇所の介護予防センターの管理運営を委託することとした。	
継続的課題や改善点	・受託者である柏市社会福祉協議会と連携しながら、市民の自主的な一次予防活動を進める。	
平成30年度 予定事業	・これまで自主企画として行っていた講座を、ふるさと協議会や町会等と協力しながら実施し、地域に根付いた自主活動へ繋げていく。	

番号 37

障害者（児）居宅支援サービスの実施と一時介護委託料の助成

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・障害者（児）を日常生活において介護する母親等の女性を支援するために、ホームヘルパーなどの居宅支援サービスを実施するとともに、介護者が第三者に有料で障害者（児）の介護を委託した場合に、その経費の一部を助成した。	障害者相談支援室
具体的評価内容	・障害者（児）の家族の負担軽減につながった。特に介護の中心は母親であることが多いため、女性の介護負担の軽減による他の社会活動への参加促進につながった。	
継続的課題や改善点	・ホームヘルパーなどの居宅支援サービスは法律に基づく国の制度で、一時介護委託料の助成は市独自の制度である。市の制度は国の制度を補完する役割を持つものとしてあり方を常に見直す必要がある。	
平成30年度 予定事業	・平成30年度も継続して実施する。	

施策：2 仕事と生活を両立できる意識づくり

番号 38

労働基準監督署等が開催する講座等の情報提供、関係機関と連携した意識啓発の推進

男女雇用機会均等法 労働基準法 育児・介護休業法パートタイム労働法

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・商工振興課など関係部署を通じて、啓発を行った。 ・男女共同参画の視点で、労働環境における格差や差別などが無いよう、関係部署への働きかけやポスター掲示などを通じて啓発に努めた。	男女共同参画センター 商工振興課
具体的評価内容	・労働基準監督署ほか関係機関が作成したチラシ・ポスター等の窓口配架及び関係機関に対する周知した。 ・人事課や商工振興課など関係部署と連携して、意識付けや啓発活動に努めた。 ・関係機関と連携し、チラシ・ポスター等の周知により、情報提供・意識啓発に努めた。	
継続的課題や改善点	・庁内、民間事業所両方に向け、男女共同参画の視点からの平等な労働環境整備の促進や、男性の育児休暇取得の促進、ライフ・ワークバランスの促進に努めていく。	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き情報提供の提供及び関係機関と連携した意識啓発に努める。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年と同様</li> <li>・労働基準監督署ほか関係機関が作成したチラシ・ポスター等の窓口配架及び関係機関に対する周知。柏労働基準監督署，松戸公共安定松戸公共職業安定所及び本市において，相互の連携及び情報提供に係る協定を締結予定</li> </ul>	

番号 39

**母性保護の普及  
母性健康管理指導事項連絡カードの活用**

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度4月よりウェルネス柏と沼南支所に柏市妊娠子育て相談センター（子育て包括支援センター）を設置，10月から柏駅前にも新設し，柏市妊娠子育て相談センター3箇所及び市役所本庁内（母子保健コーナー）にて，妊産婦，乳幼児及び健康に関する相談受付，妊娠届出書の受理及び母子健康手帳の交付を行っている。</li> <li>・柏市妊娠子育て相談センター及び母子保健コーナー利用総数8,167人</li> <li>・母子健康手帳交付状況 総数3,303人</li> </ul>	地域健康 づくり課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子健康手帳には，母性健康管理指導事項連絡カードが提示されている。母子健康手帳交付時の専門職面談では，働く妊婦への助言指導として，『妊婦健康診査等で医師から指導を受けた場合に，指導事項を会社へきちんと伝えることができるよう，母性健康管理指導事項連絡カードを有効活用すること』を説明している。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度10月から，各出張所での母子健康手帳発行をやめ，柏市妊娠子育て相談センター及び母子保健コーナーにおける母子健康手帳交付時の専門職面談率はほぼ100%になった。妊娠期からの切れ目のない支援（専門職による面談）の充実につなげることができたため，今後も充実・強化が求められる。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所本庁内（母子保健コーナー）を柏市妊娠子育て相談センターに改め，関係機関・関係課との連携を図り，柏駅前の柏市妊娠子育て相談センター機能の拡張・充実を図る。また，専門職による個別支援を強化していく。</li> </ul>	

番号 40

**広報紙等による啓発**

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画センターHP「参画EYE」で関係する情報を掲載しているほか，厚生労働省の雇用均等における労働者のためのリンクページを掲載している。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPにリンクページ掲載することで，多機関の最新の情報提供をすることができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き，働く女性の母性保護に係る最新の情報提供に努める必要がある。</li> </ul>	

平成30年度 予定事業	・平成29年度と同様	
----------------	------------	--

番号 41

家族経営協定の情報提供

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性農業委員2名を登用。</li> <li>・「農業委員会だより」に女性コーナーを設け、女性農業委員による取材・編集を行い、年2回発行。</li> <li>・県等主催の女性農業委員研修会へ積極的に参加。</li> <li>・農業委員及び農協役員への女性登用の働きかけを行う。</li> </ul>	農業委員会 農政課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「農業委員会だより」に女性コーナーにおいては、女性農業者を紹介することにより、女性が活躍している状況を幅広く広報することができた。</li> <li>・女性農業委員による積極的な女性農業委員研修会への参加により、農業委員の意識向上につながった。</li> <li>・平成30年度の農業委員の定数変更及び新委員への委嘱に向けて、女性登用3割を目標として準備を進めた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の登用3割を目指し、引き続き働きかけを行う。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年7月には制度改正後、初めての農業委員会の新体制が生まれる。女性農業委員の登用に3割の目標に向け積極的に働きかける。</li> </ul>	

番号 42

自営業者への情報提供

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三次柏市男女共同参画実績報告に、農業委員、農協役員への女性登用の働きかけについての取り組みを掲載した。</li> </ul>	男女共同参画センター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な取り組みを紹介することにより、他分野での取り組みについても情報提供を行うことができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自営業者に向けては商工振興課や商工会議所等とも連携しながら、広く情報提供等が行えるよう検討していく必要がある。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画センターHP 参画eyeにて情報提供が行えるよう検討していく。</li> </ul>	



番号 43

女性の職業生活における活躍促進に関する法律に伴う推進計画の検討

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画フォーラムで、大崎麻子氏を迎え、講演会を行った。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター 商工振興 課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会の評判も良く、女性のキャリアを考えるきっかけになる講演であった。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、女性活躍推進に向けた講座や啓発が必要</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内をはじめ、商工振興課、商工会議所との連携を図り、ワーク・ライフバランスの推進と女性活躍の推進に向け協議を重ねていく。</li> <li>女性のためのキャリア支援講座（全3回）の実施</li> </ul>	

番号 44

ワーク・ライフ・バランスの普及促進  
企業表彰のあり方（インセンティブ等）の検討

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業（事業主）に対するアンケートや意識調査の実施</li> </ul>	男女共同 参画セン ター 関係課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業のワークライフバランスの状況や企業が市に対して求めているものを知り、その調査結果を基に検討を行っていくという点で大変有効であったと思う。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の企業表彰とはまた違った方法で、企業側のメリットを考えた、啓発方法を考える必要がある。継続的評価（企業メリット）につながるやり方を検討していく必要がある。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の方法とはまた違ったワーク・ライフバランスの啓発を実施するために、企業にとってより具体的な情報提供を行えるよう、商工会議所などと連携しながら、検討していく。</li> </ul>	

番号 45

企業や働く人の支援や相談窓口など、関係機関と連携した情報提供

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工振興課と連携して、広く情報提供できるよう努めた。</li> <li>男女共同参画センターでの相談においても、仕事や職場についての相談もあるため、適宜、適切な相談窓口を引き継ぐなど情報提供を行っている。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター 商工振興 課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラック企業相談窓口の設置</li> <li>柏労働基準監督署、ハローワーク等関係機関が設置する相談窓口の市ホームページ等において周知</li> <li>適切な情報提供に努めた。</li> <li>ブラック企業相談窓口の設置及び関係機関相談窓口の周知を行い、情報提供に努めた。</li> </ul>	

継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内だけでなく、市内事業者や従業員に届くような情報の提供や、周知が必要</li> <li>・引き続き情報提供の機会の拡充に努める。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク・ライフバランスの推進と絡め、市内事業の意識調査を検討中</li> <li>・ブラック企業相談窓口の設置</li> <li>・柏労働基準監督署、ハローワーク等関係機関が設置する相談窓口の市ホームページ等において周知</li> </ul>	

番号 46

市内への働きかけ

出産・育児にかかる各種休暇休業制度利用の働きかけ

次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画の周知・推進

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産前休暇取得予定者説明会の実施（年5回開催、対象職員及びその配偶者対象）</li> <li>・出産・育児に係る各種休暇・休業制度の周知「育MEN応援プラン」周知</li> <li>・所属長向けの産育休予定者面談マニュアルの作成</li> </ul>	人事課
具体的計画内容	<p>各種休暇休業制度については、取得率が向上した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度の出産・育児に係る各種休暇・休業制度の利用状況（男性職員）</li> <li>・育児休業 7人（前年度1人）</li> <li>・出産補助休業 37人（前年度31人）</li> <li>・育児参加休業 27人（前年度21人）</li> <li>・子供休業 人（前年度169人）</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てについて、男性職員の更なる理解と積極的な参加を促すため、職員の意識啓発を図るための取組を進める。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属長向けの産育休予定者面談マニュアルの周知・運用</li> <li>・復職後の職員を対象とした研修</li> </ul>	

施策番号 47

就職を控えた学生への啓発

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生など若年世代に向けた啓発事業を検討した。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター
具体的計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的、事業実施に向けて、啓発事業の内容を検討している。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な啓発事業の実施に向け、継続的に検討をしている段階</li> <li>・大学連携事業などと絡めた事業実施を模索</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学と連携するなど、若年世代への男女共同参画啓発事業の検討・実施を予定</li> <li>・男女共同参画フォーラム実行委員会に大学生が参加</li> </ul>	

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・平成29年度はワーク・ライフバランスに向けた、市内中小企業の意識調査アンケートを実施。その際に、女性の就業状況に関する設問を設けた。	男女共同 参画セン ター
具体的評面内容	・アンケートに女性と男性の従業員数の割合に関する設問を設置。	
継続的課題や改善点	・就業状況の把握については、市民意識調査や企業に向けたアンケートなどで現状を把握必要があるため、計画的に調査を実施する必要がある。	
平成30年度 予定事業	・女性の就業状況の把握については、引き続き調査・研究を継続する必要がある。商工振興課などの関係各課との連携を強化し、調査・研究に引き続き努めていく。	

(5) 男女平等の視点に立った意識改革と社会制度・慣行の見直し

施策：1 男女平等意識をつくるための啓発活動の充実

講座，シンポジウム，イベントの実施  
男女共同参画の視点の重視  
男性や若年者に向けた啓発

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・施策8の事業内容のとおり講座を実施したほか、男女共同参画フォーラムにて講師による講演会や多様なテーマでフォーラム参加団体による分科会を開催した。 ・学生との事業連携および男女共同参画の推進として学生のカリキュラム（男女共同参画社会についての調査研究と発表）の支援を実施。	男女共同 参画セン ター
具体的評面内容	・フォーラムでは開発政策・ジェンダー専門家による「誰もが生きやすい社会とは～世界から見た日本はどんな国～」を実施。わかり易く好評であった。	
継続的課題や改善点	・男性や若年者に向けた具体的啓発が不十分に感じられるため、具体的な事業実施を引き続き検討していく必要がある。	
平成30年度 予定事業	・男女共同参画推進フォーラム実行委員会に大学生が参加	

広報紙等による啓発

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・男女共同参画フォーラムのイベント掲載記事や啓発講座を絡めた、広報紙への効果的な記事の掲載を行った。	男女共同 参画セン ター
具体的評面内容	・男女共同参画啓発講座などの周知と絡め、広報紙への効果的な記事の掲載を行った。	

継続的課題や改善点	・引き続き、効果的な周知を図り、男女共同参画の啓発とあわせて、センターの認知度が上がるような効果的掲載を行っていく。	
平成30年度 予定事業	・男女共同参画センターホームページ「参画EYE」の一層の充実を図る。	

番号 51

男女共同参画週間における啓発の推進

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・男女共同参画週間にパネル展を実施。同時に啓発ポスター等の掲示を行った。	男女共同 参画セン ター
具体的計画内容	・パレット柏のオープンスペースには、老若男女様々な人が来るため、男女共同参画の宣伝効果は高いと思われる。	
継続的課題や改善点	・継続して男女共同参画週間の啓発事業を行うことで、「男女共同参画週間」というものから周知して認知度をあげる必要がある。	
平成30年度 予定事業	・男女共同参画週間にパネル展示など啓発キャンペーンを実施予定	

番号 52

女性差別撤廃条約，男女共同参画社会基本法，女性の活躍推進法，育児・介護休業法，DV防止法等各種法律や制度の周知

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・男女共同参画センターHP「参画EYE」にて掲載している。	男女共同 参画セン ター 関係課
具体的計画内容	・HPにリンクページ掲載することで、多機関の最新の情報提供をすることができた。	
継続的課題や改善点	・引き続き、掲載内容の精査と最新情報の提供を実施していく必要がある。	
平成30年度 予定事業	・平成29年度と同様	

番号 53

法制度に関する学習機会の充実

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・各種講座や講演会、イベント実施時に法制度や法改正についての内容に触れ、実施した。	関係課 男女共同 参画セン ター
具体的計画内容	・講座や講演会などでは、最新の情報提供だけでなく、男女共同参画の歴史的背景をふまえた内容で実施することができた。	
継続的課題や改善点	・特に法改正などについては、正しく新しい情報提供を行う必要があるため、今後もそうした機会の充実を図る。	

平成30年度 予定事業	・平成29年度と同様	
----------------	------------	--

番号 54

男女平等に関する意識調査の実施

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・市民意識調査は未実施。平成32年度実施予定	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・評価なし	
継続的課題や改善点	・平成26年に市民意識調査を実施し、調査結果をまとめているが、平成28年4月から第三次男女共同参画推進計画がスタートし次回見直し（平成31年）に向け、再度、市民意識調査が必要だと考えている。	
平成30年度 予定事業	・大きな市民意識調査をとりまとめる予定は無いが、第三次男女共同参画推進計画の初回実績報告のとりまとめにあたり、パブリックコメントなどを通じて市民意識の把握を行う。	

番号 55

男女別統計（ジェンダー統計等）の推進・情報収集・公表

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・実績報告の作成にあたり、特に女性活躍推進などの観点からも女性の登用などについて注視しながら情報収集をおこなった。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・実績報告作成にあたり、性差別に配慮しながら、男女共同参画の促進および女性活躍における男女別統計の作成や情報収集を実施した。	
継続的課題や改善点	・性差別の観点から、アンケート調査などにおいて男女の設問を控える傾向にあるため、配慮や工夫が必要	
平成30年度 予定事業	・引き続き、性差別に配慮しつつ、男女別統計等の情報収集を行っていく。	

施策：2 社会制度・慣行の見直し

番号 56

社会制度・慣行の調査研究

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府や県の情報共有のほか，独自に男女共同参画に係る社会情勢を新聞マーカーなどをし，調査研究をおこなった。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各社新聞や冊子の男女共同参画に係る記事をマーカーし，課内閲覧することで，社会の制度や動向など情報更新をしながら担当者の知識向上に努めた。</li> </ul>	
継続的効果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会制度や各社企業などの取り組みなど，男女共同参画に係る動向は日々変化をしているため，公的機関の動向調査に特化することなく，国内外の社会の動向について継続的に調査研究をおこなっていく必要がある。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度同様，継続的な調査研究を行っていく。</li> </ul>	

## (6) 男女平等教育の推進

### 施策：1 家庭教育における男女平等意識の啓発

番号 57

#### 家庭教育学級等の充実

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・未実施	関係署 (生涯学 習課)
具体的評価内容	・評価なし	
継続的課題や改善点	・男女平等意識の啓発に特化したテーマでは実施していないため、今後、それに係るテーマ設定で実施する機会をつくるなど関係部署と内容等について調整していく必要がある。	
平成30年度 予定事業	・検討中	

番号 58

#### 広報紙等による啓発

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・柏市の男女共同参画についての出前講座を登録し、依頼があった場合には随時実施可としている。DVに係る講座依頼があったため、担当職員が男女共同参画の視点を織り交ぜ、講座を実施した。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・DVに関わる出前講座を行うことで、関心の低い市民にも、啓発することができた。	
継続的課題や改善点	・引き続き、適宜、依頼による出前講座を実施するほか、効果的な広報を検討していく。	
平成30年度 予定事業	・平成29年度と同様	

### 施策：2 保育園・幼稚園における男女平等教育の推進

番号 59

#### 一人ひとりの個性を尊重した教育・保育

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・就学前の子どもは、その育ちの中で個性を作りつつある過程と考え、一人ひとりの人格を尊重し保育・教育を行った。	保育運営 課
具体的評価内容	・子どもの人格を尊重した保育を行っている。	
継続的課題や改善点	・保育所の社会的責任として、「子どもの人格を尊重した保育を行うこと」としている。	

平成30年度 予定事業	・新保育所保育指針，（保育所の社会的責任）に基づき，引き続き実施していく。	
----------------	---------------------------------------	--

番号 60

保育士を対象にした研修会の開催

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育運営課主催認可保育園保育士対象研修（全18回 978名）</li> <li>・保育運営課主催公立保育園保育士・職員研修（全10回 546名）</li> <li>・保育所保育指針に基づき，一人ひとりを大切にする保育について，外部講師・保育運営課内部講師による研修を実施</li> </ul>	保育運営課
具体的評価内容	・各階層（経験別）研修や，分野別の研修を行う。各園から代表者（1～2名）が出席。研修後，自園で伝達講習を行い実践。保育士の資質向上に努める。	
継続的課題や改善点	・認可保育園・認定こども園の新設や，公立保育園職員の定年退職者に伴う新規採用職員の増加により，経験年数の少ない保育士が増えている。今後，研修の充実が求められる。	
平成30年度 予定事業	・平成30年4月に【保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領】が施行のため，法令を実践につなげていけるよう周知する。	

番号 61

幼稚園における男女平等意識の啓発

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・講座や啓発イベント実施の際には，幼稚園協会に協力を仰ぎ，周知等を行った。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・毎月ある幼稚園協会の全体会議にあわせ，イベント案内やパンフレットの提供を実施し，男女共同参画の意識づけや啓発に努めた。	
継続的課題や改善点	・幼稚園協会や幼稚園教諭の研修機会については，男女共同参画センターでは把握困難であるため，幼稚園における男女平等意識の啓発実施については今後検討が必要。	
平成30年度 予定事業	・平成29年同様，引き続き情報提供等実施予定。ほか，要検討。	

番号 62

隠れたカリキュラムの点検，見直し

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・性別にとらわれず個性が伸ばせる保育を実施する。	保育運営課
具体的評価内容	・男女の区別なく，個性を大切にする保育をおこなっている。	



継続的課題や改善点	・社会的性別意識を助長しないように努めている。	
平成30年度 予定事業	・性別にとらわれず一人ひとりを大切にする保育を継続実施する。	

### 施策：3 学校における男女平等教育の推進

番号 63

#### 性別にとらわれない教育の推進

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・人権教育担当者が受講する人権尊重教育研修と、下記研修講座を合同開催とし、「性同一性障がいや性的指向、性自認に係る児童生徒の理解と対応」という内容で8月24日（木）に研修を実施	生徒指導室
具体的評価内容	・「性同一性障がいや性的指向、性自認に係る児童生徒の理解と対応」418名が参加した。今後、3年間で全教職員の受講を義務付ける。	
継続的課題や改善点	・多様な生き方を選択できる進路指導や隠れたカリキュラムの点検をするためには、教職員の多様な性への理解が素地となるだろう。教育現場で見過ごされている課題について洗い出し、教職員の意識を変えていくことが必須であるととらえている。	
平成30年度 予定事業	・多様な性に関する教材政策を産官学連携で行っていく。 ・昨年度と同様な内容で「性同一性障がいや性的指向、性自認に係る児童生徒の理解と対応」の研修を実施する。	

番号 64

#### 副読本・教材等の作成・活用方法の検討 教職員に対するアンケート調査の実施

		担当課
平成28年度 実施事業内容	番号：63と同時進行	生徒指導室 男女共同 参画セン ター
具体的評価内容		
継続的課題や改善点		
平成29年度 予定事業		

番号 65

教職員対象の男女平等教育研修の実施

			担当課
平成29年度 実施事業内容	番号：63と同時進行		生徒指導 室
具体的評価内容			
継続的効果や改善点			
平成30年度 予定事業			

番号 66

多様な生き方を選択できる進路指導

			担当課
平成29年度 実施事業内容	番号：63と同時進行		生徒指導 室
具体的評価内容			
継続的効果や改善点			
平成30年度 予定事業			

番号 67

隠れたカリキュラムの点検, 見直し

			担当課
平成29年度 実施事業内容	番号：63と同じ		生徒指導 室 男女共同 参画セン ター
具体的評価内容			
継続的効果や改善点			
平成30年度 予定事業			

施策：4 社会における男女平等に関する生涯学習の推進

番号 68

男女平等に関する学習資料・情報の提供

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性学，男性学，ワークライフバランス，外国の諸事情，法令関係，LGBT等の資料を収集し，市民の利用に供した。</li> <li>・男女共同参画センターで管理している図書コーナーの管理と設置図書の充実を図った。</li> <li>・市図書館と連携し，一部の配架期間が決まっている図書については，その期間終了後，センターで再配架して閲覧の充実を図っている。</li> </ul>	図書館 男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の収集・貸出し等を通して，市民の課題解決支援につなげた。</li> <li>・図書コーナーの貸し出し利用が増えており，実質的啓発にもつながっている。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心を持っていない市民に関心を持ってもらえるよう，企画展示等を検討していく。</li> <li>・時代やその時々でニーズのあるテーマもあるので，それらを見極め，図書コーナーの充実を図っていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困・格差・「女子」の問題に取り組む作家の講演会及び企画展示</li> <li>・関連資料の拡充</li> <li>・平成29年度に同じ。（適宜，本の購入）</li> </ul>	

番号 69

男女共同参画社会推進のための啓発・学習機会の提供  
講座の企画

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年教育，成人教育，家庭教育，高齢者教育及び地域づくり事業に関する110講座を実施し，延べ参加者は7,614人であった。</li> </ul>	中央公民館
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年事業では，デイキャンプやダンス発表，工作教室などを企画し，男女問わず体験学習の機会を提供した。成人教育事業，高齢者教育事業，地域づくり事業では，市民同士の交流が図れるよう演習や館外学習を取り入れた講座を実施した。家庭教育事業では，親子で参加できる講座を多く実施し，親子・参加者同士の交流の場を提供した。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな市民に参加してもらうためには，中央公民館だけでなく，より市民に身近な近隣センターを活用し講座を実施していくことも必要</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度同様，引き続き実施していく。</li> </ul>	

番号 70

様々な人が参加しやすい開催日時等への配慮

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各担当部署において、講座等を実施する際には、より多くの人に参加できるように、平日昼間以外でも開催時間や曜日（夜間や休日含む）を工夫して実施した。</li> </ul>	関係部署
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座のテーマや内容、対象者によって、参加しやすい時間帯や曜日が異なるため、それらを意識した企画をすることができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画日程を多様化することで、担当職員の業務負荷も生じることが不可欠であるため、各課内で調整が必要</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年同様、各担当部署において実施予定</li> </ul>	

番号 71

開催時の保育、介護サービスの充実

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画センターでは、講座開催時などに未就学児の保育を実施した。</li> </ul>	関係部署 (男女共同参画センター、 高齢者支援課)
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代の講座受講者を増やすため、こどもを預けて、安心して講座受講をしてもらえるよう環境を整えた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>他部署の講座実施においても、保育ありの講座を増やしていくことで、若い世代の学習や啓発機会の増加につながると考える。一方で、介護サービスについては、男女共同参画の視点をもった介護にかかる出前講座の実施はしているが、講座開催時に介護サービスをつけるのは現状困難であり、検討が必要</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度と同様</li> </ul>	

番号 72

学習プログラムと情報提供の充実  
らんらんかしわ

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学・民間企業を含めた広範囲にわたる生涯学習情報をらんらんかしわに掲載した。また、掲載情報をもとに「生涯学習ガイド」及び「生涯学習ボランティア登録者名簿」を発行した。</li> </ul>	生涯学習課 関係部署
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>閲覧者のアクセシビリティ・ユーザビリティ等の向上のため、柏市オフィシャルウェブサイトとの統合を行い、市のHPのトップページかららんらんかしわのイベント情報を閲覧できるようにした。新システムへの移行に伴い、システムの操作説明会を行い、利便性の向上に努めた。</li> </ul>	

継続的課題や改善点	・市内・近隣の生涯学習情報の収集を継続，充実させていく必要がある。
平成30年度 予定事業	・引き続き，らんらんかしわの管理・運営を行うとともに，掲載情報をもとに「生涯学習ガイド」及び「生涯学習ボランティア登録者名簿」を発行し，インターネットを利用しない方への周知も行う。

## (7) 人権の尊重

### 施策：1 心の健康支援の充実

番号 73

#### 悩みをかかえる人のための相談窓口の紹介・情報提供

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策92のとおり，男女共同参画センターでは第1・3火曜日，第2・4月曜日と毎週木曜日に「女性のこころと生き方相談」を実施している。ただし，男性相談や法律相談，未成年が関わる場合など，相談対象に該当しない内容の場合や関係部署を要する場合には，関係各所と連携して，相談者をつないでいる。</li> <li>・地域包括支援課では，地域包括支援センターや様々な機関と連携しながら相談対応している。また，地域包括支援センターでは高齢者の生活等の様々な相談を受けており，必要に応じて適切な相談窓口へ繋ぐなどの支援を行っている。</li> <li>・関係機関にポスター・リーフレット配布，広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりへの掲載，市民講座や出前講座等での紹介</li> <li>・精神科医師によるこころの健康相談を年間32回（相談32件・訪問11件）実施</li> <li>・精神科医師によるアルコール悩みごと相談年間12回（相談15件・訪問1件）実施</li> <li>・精神保健福祉士・保健師による相談（面接985件・訪問815件・電話8,235件）実施</li> </ul>	男女共同 参画セン ター 福祉活動 推進課 保健予防 課 関係課
具柏市平面内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な問い合わせに対し，必要関係部署の相談窓口をつなぐよう対応しているほか，センターの立地からもワンストップ窓口のように直接窓口で受けるケースも増えた。</li> <li>・複雑な問題を抱えた支援困難ケースが増加傾向にあり，関係部署や関係機関と協力しながら対応した。</li> <li>・相談・訪問・電話相談の件数の増加</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な相談窓口へ繋ぐために，関係機関との顔の見える関係を築くとともに必要な情報を共有する機会を持つ。</li> <li>・悩みを抱える人のための相談窓口の周知や，精神保健に関する情報の提供を更に進めていく必要がある。相談内容の多様化，多問題ケースなどが増加しており，関係部署・関係機関とより連携を取りながら迅速かつ安全に対応できるようにしていく必要がある。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第2木曜日の「女性のこころと生き方相談」の夜間相談を継続して行う。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談対応を継続して実施する。</li> <li>・関係機関にポスター・リーフレット配布，広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりへの掲載。介護支援専門員等の関係者への周知，市民講座や出前講座等での紹介</li> <li>・精神科医師によるこころの健康相談を年間48回実施予定</li> <li>・精神科医師によるアルコール悩みごと相談年間12回実施予定</li> <li>・精神保健福祉士・保健師による随時相談の継続</li> </ul>	
--	--	--

番号 74

心の健康についての理解の促進

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉普及運動期間やアルコール関連問題啓発週間を中心に，広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりに掲載。</li> <li>・10月14日発達障害の理解に関する市民講座：（専門家による講演・当事者2名による体験談）参加者数87人，</li> <li>・9月2日すいみんの日講座：参加者数164人</li> <li>・こころの病について等の出前講座：15回開催・参加者数629人</li> <li>・ボランティア育成：柏市社会福祉協議会が実施する「精神保健ボランティア養成講座」への協力，現在活動しているボランティアのスキルアップ研修として，10月20日障害者の就労に関する講座・10月27日就労支援事業所見学ツアー：参加者数18人</li> </ul>	保健予防課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座参加者数</li> </ul>	
継続的効果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民講座は，より市民に関心を持ってもらえるものにするためにも，今後も関係機関と連携をして実施していく必要がある。出前講座は申し込みも増えてきており，今後も周知に力を入れていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉普及運動期間やアルコール関連問題啓発週間を中心に，広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりに掲載</li> <li>・市民講座・すいみんの日講座開催予定</li> <li>・出前講座の実施</li> <li>・ボランティア育成：柏市社会福祉協議会が実施する「精神保健ボランティア養成講座」への協力，ボランティアフォローアップ研修実施予定</li> </ul>	

番号 75

自殺予防のための啓発

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺予防ゲートキーパー養成研修（不登校編）の開催</li> <li>・無料相談事業（電話相談・対面相談）</li> <li>・自死遺族支援事業（わかちあいの会「ひだまり」の開催，自死遺族支援公開講演会の開催）</li> <li>・自殺防止ミュージカル「つまづいても」の開催</li> </ul>	保健福祉 総務課 関係課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺予防ゲートキーパー養成研修の受講者が，平成28年度の延べ65名から平成29年度は延べ88名に増加した。また，無料相談の件数が，平成28年度の254件から平成29年度は512件に増加した。いずれもホームページでの周知，パンフレットの配架など，広報活動の充実に努めたことが増加の要因と考えられる。</li> </ul>	

継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの自殺は様々な悩みにより心理的に「追い込まれた末の死」である。様々な要因に対する社会の適切な介入により「多くの自殺は防ぐことができる」という基本認識を市民一人ひとりが持てるよう、継続した普及啓発を進めていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲートキーパー養成研修（産後うつ・育児不安編）の開催</li> <li>・無料相談事業（電話相談・対面相談）</li> <li>・自死遺族支援事業（「わかちあいの会ひだまり」の開催，自死遺族支援公開講演会の開催）</li> <li>・自殺予防対策映画上映会の開催</li> <li>・相談先を記した啓発カードの作成，配付</li> </ul>	

番号 76

相談窓口等の情報発信

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターで行っている「女性のこころと生き方相談」について案内チラシを作成・配架し周知している。</li> <li>・複合施設内にセンターが開館したため，窓口を活かし，各種相談窓口の情報提供を行っている。</li> <li>・関係機関にポスター・リーフレット配布，広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりへの掲載，市民講座や出前講座等での紹介</li> <li>・精神科医師によるこころの健康相談を年間32回（相談32件・訪問11件）実施</li> <li>・精神保健福祉士・保健師による相談（面接985件・訪問815件・電話8,235件）実施 （性や性別に関する悩み相談件数の再掲はしていない）</li> </ul>	男女共同 参画セン ター 保健予防 課 関係課
具体的計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの場所も良く，ワンストップ的機能が定着してきている。また，他の用件で，パレット柏に来館した方が，センターの案内を見て相談に声をかけられるなどといったことが増えている。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き，センターの認知度を高めていくことで，効果的な情報発信につながっていくと考える。一方で男性からの相談希望の問い合わせもあるため，今後検討をしていく必要がある。</li> <li>・悩みを抱える人のための相談窓口の周知や，精神保健に関する情報の提供を更に進めていく必要がある。相談内容の多様化，多問題ケースなどが増加しており，関係部署・関係機関とより連携を取りながら迅速かつ安全に対応できるようにしていく必要がある。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度と同様，継続して行っていく。</li> <li>・関係機関にポスター・リーフレット配布，広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりへの掲載，市民講座や出前講座等での紹介</li> <li>・精神科医師によるこころの健康相談を年間48回実施予定</li> <li>・精神保健福祉士・保健師による随時相談継続 （性や性別に関する悩みと表してはしない）</li> </ul>	

性や性別の悩みに関する情報の収集

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画フォーラム分科会のなかで、LGBTについてとりあげ、情報の収集と提供の機会を設けた。</li> <li>男女共同参画センターで管理している図書コーナーへの図書の充実を図った。</li> <li>相談窓口で相談があった際などは適宜、関係機関を紹介</li> <li>他市や県の会議などに出席し各市の取り組みなど情報交換を行った</li> </ul>	男女共同 参画セン ター 関係課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の収集だけでなく、情報提供につなげることができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>性や性別の悩みについては、年々、柔軟な対応の必要性が高まっている。また若年世代にも大きく影響しているため、学校関連の部署とも連携して情報収集などに努める必要がある。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度と同様に事業の実施をするほか、近隣各市の対応の動向なども注視していく。</li> </ul>	

施策：2 人権に関する啓発とメディアにおける人権への配慮

セクシュアル・ハラスメントの防止に向けた情報発信

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や県などで作成・発行される掲示物やパンフレットを適宜、掲示や配架し啓発に努めた。</li> <li>国県等が作成した啓発物（ポスター・チラシ）の配架・掲出</li> <li>国県等の相談窓口を市ホームページに掲出</li> </ul>	商工振興 課 男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画センターの立地を活かし、多層のパレット柏の来館者に対し、発信している。</li> <li>啓発物の掲出や相談窓口の周知により、情報発信に努めた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き情報発信の機会の拡充に努める。</li> <li>来館者だけでなく、商工振興課などを通じ、市内事業者に向けた啓発に努めたい。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、セクシュアル・ハラスメントの防止に向けた啓発を実施するほか、相談窓口としての機能の周知にも努める。</li> <li>国県等が作成した啓発物（ポスター・チラシ）の配架・掲出。</li> <li>国県等の相談窓口を市ホームページに掲出</li> </ul>	

職員のセクシュアル・ハラスメントに関する窓口の継続設置

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員対象のセクハラ相談窓口における対応（相談件数0件）</li> </ul>	人事課



具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口での相談又は苦情の処理，苦情処理委員会での審議の手続等においては，男女共同参画，特に女性の人権への配慮を行うよう措置を講じている。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談又は苦情処理の窓口の設置を含め，セクシャル・ハラスメントに係る要領及び指針に基づく制度について，職員に周知を図っていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口の継続設置，研修等の機会における窓口の周知</li> </ul>	

番号 80

性に起因する人権侵害に関する啓発事業の実施

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の助成金を活用し啓発グッズの作成とそれを用いた啓発活動や広報での相談窓口等の情報提供を行った。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権に係る担当課の広報広聴課と連携し，広報に相談窓口の案内を掲載したり，人権侵害に係る啓発の促進を図った。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性に起因する人権侵害のケースは多岐にわたるため，総合的な啓発事業の実施は難しい。各分野や関係課と協力して啓発を促していくことが必要</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の助成金を活用した啓発グッズの作成とそれを用いた啓発活動を実施する。</li> </ul>	

番号 81

国際交流センターの整備等，外国人のための相談窓口の充実

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の外国人相談窓口は，英語（木曜日），中国語（水・金曜日），スペイン語（水曜日），韓国語（第2・4木曜日）に実施</li> </ul>	協働推進 課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在住外国人の日常生活や市政に関する相談を行った。平成29年度の市の外国人相談窓口の相談件数は77件</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナムの在住外国人が増加しているなかで，ベトナム語の通訳・翻訳者がいない。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人相談事業を継続実施。</li> <li>・くらしの情報（ベトナム語版）の作成</li> </ul>	

番号 82

広報・出版物等における男女平等の視点に立った表現の使用

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報・出版物等の表現だけでなく，市のホームページにおいても，女性・男性双方に配慮し作成を行った。</li> </ul>	広報広聴 課 関係課

具体的評価内容	・ジェンダーに関するクレームは特になし	
継続的課題や改善点	・推進計画に基づき、さらに女性・男性双方に配慮した表現の見直しを推進していく。	
平成30年度 予定事業	・引き続き広報・出版物・ホームページ等の掲載内容について、女性・男性双方に配慮し作成を行う。	

## (8) 性差に配慮した健康支援

### 施策：1 性差に配慮した健康支援

番号 83

#### 妊産婦の健康診査、相談及び指導

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届出により母子健康手帳及び母子健康手帳別冊（妊婦健康診査受診票）を渡している。14回分の妊婦健診の公費助成（一部自己負担あり）により、妊婦の経済的負担を軽減している。</li> <li>・母子健康手帳交付時に、本庁、沼南、ウェルネス柏では保健師等の専門職による面接を行い、妊婦健診受診票の説明や必要性を伝えると共に妊婦への相談及び指導を行っている。また必要に応じて継続的な相談支援に努めている。</li> </ul> <p>【内容】母子健康手帳交付時に制度の説明、保健指導を実施。</p>	地域健康 づくり課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診の公費助成により、妊婦全体の経済的負担の軽減につながると共に、経済的理由で妊婦健診を控えていた妊婦が健診を受けやすくなった。</li> <li>・母子健康手帳交付時に、保健師等の専門職による面接を行うことにより、妊婦健診受診票の説明や必要性を伝えると共に、妊婦への相談及び指導が実施できた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度10月から、各出張所での母子健康手帳発行をやめ、柏市妊娠子育て相談センター及び母子保健コーナーにおける母子健康手帳交付時の専門職面談率はほぼ100%になった。妊婦健診受診票の説明や必要性を伝えると共に、妊婦への相談及び指導の充実・強化が求められる。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健康診査は継続実施</li> <li>・妊娠子育て相談センター（3箇所）を整備し、母子健康手帳交付時の保健師等専門職による全数面接を実施し相談体制を強化する。</li> </ul>	

番号 84

#### 女性の健康管理に関する講座等の実施

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域健康講座 産後・子育てママのからだケアについて 参加者21人 産後のママのからだケアについて 参加者30人 産後ママの身体ケアについて 参加者26人</li> <li>柏市民健康づくり推進員対象の内部研修 パママ世代の食育・健口づくりについて 参加者80人</li> </ul>	地域健康 づくり課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親は産後育児が中心となり、自身の健康管理がおろそかになってしまうことが多い。母親自身が講座を受けることで、自身の健康について考える機会とすることができた。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市民健康づくり推進員が、子育てで忙しい世代に対し、食育や口腔ケアについて、地域の活動を通して情報を発信することができるよう研修を実施できた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域健康講座はテーマが固定されていない為、継続した事業とはならない。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度は未定</li> </ul>	

番号 85

女性のための各種健康診査，子宮頸がん対策，乳がん対策，  
性差医療の情報提供等の充実

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性特有のがん検診（乳がん検診，子宮頸がん検診）の実施においては，集団検診会場において，受診者が検診バスの中で検査中，同伴の乳幼児を女性スタッフが預かり，子育て期の女性にも検診を受けやすい体制を整えた。</li> <li>・特定の年齢に該当する女性に，乳がん，子宮頸がんの無料検診を実施。</li> <li>・40歳から70歳までの5歳刻みの女性を対象に，骨粗しょう症検査を実施。</li> <li>・女性の健康づくりリーフレットを作成し，イベント等で配布</li> </ul>	成人健診課 地域健康づくり課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て期の女性が乳幼児を同伴していても安心して検診を受けられることを目指しているため，受診者からは大変好評。</li> <li>・若い世代への啓発活動を強化し，個別勧奨通知等を実施しているため，女性のがん検診受診率は増加傾向にある。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん検診と子宮頸がん検診の集団会場における乳幼児の預かりは，平成28年度は「保育の日」のみ実施だったが，平成29年度は全日程で実施した。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度同様に実施する他，乳がん検診では，インターネットと電話による完全予約制を導入し，待ち時間の解消を図る。</li> </ul>	

番号 86

学校における性教育・健康教育の充実

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん，HIV，喫煙，熱中症等の最新の情報提供</li> <li>・外部講師による薬物乱用防止教育</li> <li>・たばこの煙の害を学習する「ノースモッ子教室」の推進</li> <li>・ジュニア救命士養成講習←「命を大切にする」という観点により，25年度から本格実施となった小学生対象の救急法出前授業</li> </ul>	学校保健課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携を図り，最新の情報を学校に発信できた。</li> <li>・「ジュニア救命士講習」は，24年度にモデル校10校で試行し，25年度から本格運用，年々希望する学校が増え，29年度は該当校42校中40校が実施</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ジュニア救命士講習」は2校未実施であったが，昨年度と同一校ではない。</li> <li>・国の施策でもある，中学校における薬物乱用防止教室の実施率100%の継承</li> </ul>	

平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の状況をタイムリーに学校へ発信していく。</li> <li>・養護教諭や保健主事研修会において、指導実践等の情報交換の場を設定する。</li> <li>・他機関との連携を図り、「危険ドラッグ」を含めた薬物乱用防止教育を推進していく。</li> </ul>	
----------------	--	--

番号 87

広報紙等による情報提供

うつや更年期、依存症等、身近な健康に関する情報の発信

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉普及運動期間やアルコール関連問題啓発週間を中心に、広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりに掲載</li> <li>・10月14日発達障害の理解に関する市民講座：（専門家による講演・当事者2名による体験談）参加者数87人、</li> <li>・9月2日すいみんの日講座：参加者数164人</li> <li>・こころの病について等の出前講座：15回開催・参加者数629人</li> <li>・ボランティア育成：柏市社会福祉協議会が実施する「精神保健ボランティア養成講座」への協力、現在活動しているボランティアのスキルアップ研修として、10月20日障害者の就労に関する講座・10月27日就労支援事業所見学ツアー：参加者数18人</li> <li>・地域健康講座 認知症予防講座 参加者19人</li> <li>・保険予防課と連携し、啓発の促進をした。</li> </ul>	保健予防課 地域健康づくり課 男女共同参画センター
具柏館評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座参加者数</li> <li>・参加した市民が、認知症について正しい知識や予防方法を学ぶことができ、今後の地域の活動を通して情報を発信することができた。</li> <li>・うつや更年期、依存症など健康に関する直接的な情報の発信は担当課となるため、担当課への働きかけをすること、またはセンターの来館者に向け情報提供を行った。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民講座は、より市民に関心を持ってもらえるものにするためにも、今後も関係機関と連携をして実施していく必要がある。出前講座は申し込みも増えてきており、今後も周知に力を入れていく。</li> <li>・地域健康講座はテーマが固定されていない為、継続した事業とはならない。</li> <li>・健康に関する講座の実施をしている部署など、関係機関との連携が必須であるため、周知など協力して行っていく必要がある。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉普及運動期間やアルコール関連問題啓発週間を中心に、広報かしわ・ホームページ・柏市保健所だよりに掲載。</li> <li>・市民講座・すいみんの日講座開催予定</li> <li>・出前講座の実施</li> <li>・ボランティア育成：柏市社会福祉協議会が実施する「精神保健ボランティア養成講座」への協力、ボランティアフォローアップ研修実施予定。</li> </ul>	

	・パレット柏やセンターを利用し、関連部署の実施講座などの周知を図っていく。	
--	---------------------------------------	--

番号 88

**HIV／エイズ・性感染症に関する感染予防・まん延防止のための  
検査・相談事業及び啓発**

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HIV等検査相談の実施（日中・夜間・休日等年間24回実施，受検者574件）</li> <li>・検査普及週間，世界エイズデーにおける啓発活動，街頭キャンペーンの実施（日立グラウンド，開智国際大学で実施）</li> <li>・青少年への性教育の実施（サポート校等2校実施）</li> <li>・教育関係者を対象としたエイズ対策研修会の実施</li> <li>・思春期保健会議への参画（年2回）</li> </ul>	保健予防課
具体的計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査・相談件数，性教育の実施回数</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発活動を充実させ，多くの人々へ正しい知識の周知を図る。</li> <li>・休日検査，夜間検査を引き続き実施し，受検者数の向上に努め，感染者の早期発見，早期治療に努める。</li> <li>・個別施策層に対して，充実した知識の啓発が行えるよう関係機関と連携し，多方面からアプローチを行う。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HIV等検査相談の実施（日中・夜間・休日等年間24回実施）</li> <li>・検査普及週間，世界エイズデーにおける啓発活動，街頭キャンペーンの実施（日立グラウンド等予定）</li> <li>・青少年等の個別施策層へ性教育を含めた啓発活動の実施</li> <li>・教育関係者を対象としたエイズ対策研修会の実施</li> <li>・思春期保健会議への参画（年2回）</li> </ul>	

**施策：2 性と生殖の健康・権利に関する啓発**

番号 89

**広報紙等による情報提供**

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各講座やイベントの告知，相談窓口について広報かしわに掲載したほか，センターホームページ「参画EYE」にもあわせてそれらの告知や実施報告を掲載した。</li> <li>また，男女共同参画推進審議会の会議録についてもホームページに掲載した。</li> </ul>	男女共同参画センター
具体的計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報かしわやホームページのみでなく，男女共同参画センター窓口横の掲示板を活用し，他市の情報も含め男女共同参画推進に係る情報提供を行うことができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きイベントや講座の周知・情報提供を継続していく。</li> <li>・HP「参画EYE」の掲載内容の充実を図っていくことが課題</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合施設内という立地を活かし，男女共同参画啓発パネルを展示などすることで，市民の目にふれる機会をふやし啓発を行う。</li> </ul>	

番号 90

学校における性教育の充実

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柏市独自の教材「生と愛と性」の活用と啓発</li> <li>・ 医師や助産師による性教育の実施</li> </ul>	学校保健課
具体的計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 赤ちゃん抱っこや、妊婦ジャケットによる妊婦体験などを通し、命の大切さを学ぶことができた。専門的意識を持った外部の人材を活用し、効果的に指導することができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門的知識を持った外部関係機関と連携した取り組みをさらに推進するとともに、「生と愛と性」を活用した学習をさらに充実させ、保護者への啓発を図っていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他機関とも連携し、思春期保健教育を推進していく。</li> </ul>	

番号 91

家庭における性教育を支援する学習機会の充実

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内小学校20件（校）で助産師による「命の授業（性教育）」を実施し、こどもを対象としただけでなく保護者にも学習機会を設けた。</li> </ul>	関総庁 （生涯学習課）
具体的計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者も一緒に学ぶ機会を作ることで、家庭での学習機会につなげることができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、保護者も一緒に考える機会を作っていくことが家庭での学習機会につながると考える。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度と同様</li> </ul>	

## (9) 女性に対するあらゆる暴力の根絶

### 施策：1 被害者の支援

番号 92

#### 相談窓口の充実

母子・父子自立支援相談，法律相談，人権相談の継続と女性のこころと生き方相談の拡充の検討

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1・3火曜日，第2・4月曜日と毎週木曜日に「女性のこころと生き方相談」を実施。毎月第2木曜日は夜間相談実施。（午後2時～午後8時）必要に応じて，関係課や関係機関への連携を図った。（相談件数374件）</li> <li>・平日9時から16時まで，母子・父子自立支援員が，電話又は面談によって，ひとり親の生活一般に関する相談や離婚に係る相談を実施した。（相談件数延べ2,433件）</li> <li>・法律相談：原則毎週月・水・木曜日に実施。相談件数1208件のうち，DV関連相談は15件。</li> <li>・人権相談：原則毎月第1・3火曜日に実施。相談件数19件。相談内容は市で確認できないため，DV関連相談の件数は把握していない。</li> <li>・市民相談：平日実施。相談件数2699件のうち，DV関連相談は15件。</li> </ul> <p>いずれの相談も必要に応じて，関係課や関係機関への連携を図った。</p>	男女共同 参画セン ター こども福 祉課 広報広聴 課
具体的計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害者支援の連携強化を図るため，適宜，関係部署の担当者と情報共有を図った。また相談ケースによって適切な支援策が検討できるよう関係部署との連携強化に努めた。</li> <li>・その他，DV対策担当課長会議，DV被害者支援連絡会議に出席したほか，相談窓口を持つ関係部署・機関との連携強化に努めた。</li> <li>・DVや離婚に関する相談が多く，また，精神的に困難を抱えている方々からの相談が目立つようになり，相談内容の複雑化と相談時間の長時間化が進んでいる中で，必要に応じて関係機関との連携を図りつつ相談対応を行っている。また，専門的な情報の提供を行えるよう，外部研修に積極的に参加している。</li> <li>・被害者支援の連携強化を図るため，適宜，関係部署の担当者と情報共有を図った。</li> <li>・相談ケースによって適切な関係機関を案内できるよう，情報収集を図った。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き，相談者の安全や情報の保護，また，関係部署との連携強化に努めながら相談体制の充実を図っていく。</li> <li>・継続して丁寧な相談対応を実施する。</li> <li>・相談後に関係機関を案内できるよう，情報収集や資料の充実などの取組が引き続き必要</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同相談事業の継続的实施を行う。</li> <li>・関係課との連携強化に向けた協議を進めるとともに，女性のこころと生き方相談の他に随時入る相談に対し，より適切な対応ができるよう，関係部署との連携および職員の技術の向上を図る。</li> <li>・法律相談，市民相談は平成29年度と同様</li> </ul>	

	・前年度と同様の相談を実施	
--	---------------	--

番号 93

**相談員の知識・対応技術の向上**

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・国や県主催の担当者会議や研修会に相談員や担当者が参加し、知識向上やスキルアップを目指した。	関係課 (こども福祉課・男女共同参画センター)
具体的評価内容	・相談員だけでなく、特に年度当初などでは新任担当者が研修会等に出席し、基礎知識や対応について学ぶ機会を積極的に作る事ができた。	
継続的課題や改善点	・引き続き、外部研修等で相談員や担当者の知識向上に努める。	
平成30年度 予定事業	・平成29年度と同様	

施策番号 94

**関係課・関係機関との連携強化  
警察，病院，配偶者暴力相談支援センター  
地域生活支援センター，NPO等**

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・被害者の救済・支援において、関係各課と情報共有を図り、支援をつなぐことができた。	関係課
具体的評価内容	・部署をまたぐケースや、引き継ぐ場合にも、情報共有や適宜、新しい情報交換を行うことで、シームレスな対応・支援に繋げることができた。	
継続的課題や改善点	・被害者の救済・支援において、関係各課との連携は不可欠であるため、一層の連携・強化を図っていく。	
平成30年度 予定事業	・庁内DV担当課ネットワーク会議など連携強化に向けた事業を実施予定	

番号 95

**DV対策ネットワークの充実**

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・関係課職員のDVに関する基礎知識の習得、及びスキルアップを図るため、ちば女性と子どものサポートセンター代表・臨床心理士・有馬和子先生による研修会を実施。	男女共同参画センター 関係課
具体的評価内容	・DV関係課ネットワーク会議では庁内各課に加え、柏警察やあいネットなどDV対応に係る部署で情報交換や連絡体制の強化を図った。	
継続的課題や改善点	・DV対応は被害者の状況が多岐にわたるため、各課との連携が不可欠。継続的に連携強化を図っていく必要がある。	



平成30年度 予定事業	・DV関係課ネットワーク会議をケース検討会議形式等で実施予定	
----------------	--------------------------------	--

番号 96

DV加害者の相談に関する情報収集

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の加害者からの相談はなかった。</li> <li>・県や国のDV担当者会議や研修を通じて、担当職員の知識向上に努めた。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修などでのケースワークを通じて、加害者の心理状態や陥りやすい傾向など、知識を増やすことができ、対応の幅が広がった。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、加害者側についての知識のほか、加害者の相談に対応できるような相談先（更正プログラムなど）の情報収集をする必要がある。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、近隣市や関係部署との情報収集を図る。</li> <li>・県や国のDV担当者会議や研修に参加し、担当職員の技能・知識向上を図る。</li> </ul>	

番号 97

広報等による情報提供

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性に対する暴力をなくす運動の期間にDV防止啓発キャンペーンを実施した。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パープルリボンキャンペーンと題し、広報や男女共同参画センターHP「参画EYE」で掲載・啓発したほか、センターにて啓発キャンペーン事業を実施し、若い世代にも効果的なPRを行うことができた</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な世代に向けた効果的なPRを検討していく必要がある。また、DV自体を知らない人にも少しでも知ってもらうような取り組みも必要</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年同様、同期間に啓発事業を実施予定</li> </ul>	

番号 98

緊急避難支援事業の充実

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子から緊急一時避難などについて、相談支援を行った。（相談延件数221件）</li> <li>・母子からの緊急一時避難などについて、相談支援を行った。（相談件数延べ291件）</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待を受けた高齢者に対し、必要に応じて関係機関との連携の下、老人福祉施設等に緊急一時保護をおこなった。</li> </ul>	こども福祉課 男女共同参画センター 福祉活動推進課 関係部署
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVを受けた母子からの相談を受け、緊急一時避難などの支援を行った。</li> <li>支援員と職員相互の連携又は関係機関との連携を図り、対応することができた。</li> <li>・緊急の相談、事案の場合には関係機関と連携を図り、迅速に対応した。</li> <li>・通報があった際には関係機関と連携しながら迅速に対応した。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施においては引き続き関係各課との連携が必要不可欠。</li> <li>・緊急の相談の際は、特に関係機関との連携が不可欠であるため引き続き、情報共有と連携強化に努める必要がある。</li> <li>・多問題を抱え家族全体への支援が必要なケースが多いため、引き続き関係機関と連携しながら対応していく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急避難が必要な母子に対し、相談支援を継続する。</li> <li>・引き続き、状況に応じて、関係各所との円滑な連携と対応に努める。</li> </ul>	

番号 99

### 施設等との連携

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV被害の状況と本人の避難に対する意思に基づき、緊急性がある場合に、庁内関係各所、警察署、県シェルターとの連携により迅速な避難対応を行った。また、緊急性は高くないものの、一時的に避難したいというケースに対しては、入所可能な施設を探し避難対応を行った。</li> <li>・被害を受けた女性が一時保護施設に入った場合等において生活保護法に基づく自立支援を行った。</li> </ul>	こども福祉課 男女共同参画センター 生活支援課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV相談が増えている中で、相談者の状況（人間関係や子どもの有無）DV被害の認識や避難に対する意思は相談者によってまちまちである。そうした中で、DVの危険性を伝え、相談者に合った避難先（施設）を探し、情報の共有化と連携に努めた。</li> <li>・被害者支援の連携を図るため、適宜、関係部署の担当者及び一時保護施設担当者との情報共有に努めた。</li> <li>・被害者が遠方へ転居することが望ましい場合においては、他市と協議の上、速やかな生活保護事務の移管に努めた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV相談内容の多様化に対し、あらかじめ様々な避難先をリストアップしておくことで、相談者の避難支援対応の質を高める。</li> <li>・DV相談の多様化に対し、あらかじめ様々な避難先や連携先を把握（リストアップ）しておくことで、相談者の避難支援対応の質を高める。</li> <li>・引き続き、関係部署との連携強化に努めながら、生活保護法に基づく適切な支援を行っていく。</li> </ul>	

平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度と同様、円滑な連携に努める。</li> <li>・関係部署と連携を図りつつ、生活保護法に基づく適切な支援を行っていく。</li> </ul>	
----------------	--	--

番号 100

**被害者の自立支援  
就業相談等  
被害者の子どもの支援**

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子・父子自立支援相談へつなぎ、継続的な支援を実施した。また、シェルター避難者について、退所後の母子での生活が困難と認められるケースについては、母子生活支援施設への入所についても検討した。</li> </ul>	生活支援課 こども福祉課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV被害者は精神的に不安定なケースが多く、早期就労による自立支援を図ることが難しい場合が多い。そうした中で、母子・父子自立支援員が継続的な相談に応じ、必要に応じて、かしわ就労自立サポートセンターへのつなぎや、自立支援給付金等の制度案内を実施し、DV被害者の就労を促している。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、相談対応と情報提供に努める。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年と同様に実施すると共に、関係部署と連携を図りつつ、生活保護法に基づく適切な支援を行っていく。</li> </ul>	

番号 101

**支援措置等個人情報の保護**

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談事業や支援措置に係る個人情報の取り扱いが多いため、常に施錠とデータファイルのロック、管理を徹底した。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター 関係課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合施設内に位置していることもふまえ、センター内のレイアウトや収納方法の工夫に努めた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して個人情報管理を徹底していく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して個人情報管理を徹底していく。</li> <li>・関係課との連携の際にも個人情報の取り扱いについて徹底をする。</li> </ul>	

## 施策：2 被害者・加害者を生まない教育

番号 102

### シンポジウム、情報紙等による啓発

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第25回男女共同参画フォーラムの開催</li> <li>・男女共同参画センターHP「参画EYE」への情報掲載・周知</li> </ul>	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第25回フォーラムでは開発政策・ジェンダー専門家の大崎麻子さんをお呼びして講演会を開催。また同日開催の分科会では様々なテーマをとりあげ参加総数は121名であった。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、フォーラムなどを実施し、啓発を行っていく。独自の情報紙の発行については検討をしていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第26回男女共同参画フォーラムの開催</li> </ul>	

番号 103

### 女性への暴力をなくす運動期間における啓発活動の継続

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期間にあわせ、男女共同センター前でパープルリボンキャンペーンを実施した。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合施設の利点を活かし、若年世代にもデートDVなどの啓発も促すことができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、多世代に対して女性への暴力をなくすことを啓発していく必要がある。配偶者だけでなく、交際相手から受けるデートDVも増加傾向にあるため、若い世代から啓発をしていく必要がある。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画フォーラム開催時に啓発展示など実施する。</li> <li>・女性への暴力をなくす運動期間に限らず、男女共同参画週間に実施したパネルの内容にもDVについてを含め、啓発した。</li> </ul>	

番号 104

### 暴力に関する意識調査

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査は平成26年に実施。次回平成31年の実施を予定している。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は意識調査を行っていないため評価なし</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査の実施とは別に、若年世代（学生）などに意識調査をかけてみるのも調査結果だけではなく、気づきのきっかけになるかと考えている。</li> </ul>	

平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「女性に対する暴力をなくす運動」期間にDV防止キャンペーンとしてパープルリボンキャンペーンを行い、簡単なアンケートなどを検討している。</li> </ul>	
----------------	--	--

番号 105

**千葉県DV担当者会議等への参加  
DV関係機関対応マニュアルの庁内共用**

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県DV担当者会議,DV担当者研修等への出席</li> <li>・DV対応等, マニュアルや資料の情報共有</li> <li>・千葉県等が主催するDV担当者会議等には, できる限り担当職員3名及び母子・父子自立支援員3名のうち, いずれか1名以上が参加した。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター こども福 祉課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県主催のDV担当者に向けた各種会議や研修に参加し, 各市の取り組みやケースワークを通じて職員のスキルアップを図った。</li> <li>・担当者会議や研修会への参加を重ねることにより, スキルアップを図ることができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVの対応には関係各所との連携や多様な情報が必要であるため, 市区町村を超えた連携が必要</li> <li>・研修会等に参加することで, 一定の知識の習得は可能であるが, 相談業務の実務におけるスキルアップを図るには, OJTによる経験が必要である。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年同様, 各会議・研修に出席予定。担当職員のスキルアップを図る。</li> <li>・人事異動による新任の担当者が優先的に研修等に参加するとともに, 他の担当者及び自立支援員についても, 引き続き相談スキルのブラッシュアップを図る。</li> </ul>	

番号 106

**若年層への予防啓発, 相談窓口の周知  
市内中学校でのデートDV防止教育等の実施**

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保険課による啓発の推進。市立中学校でのデートDVプログラムについて養護教諭研修会において情報提供を行うなどプログラムの実施を進めた。今年度は柏市市民公益活動推進基金の支援補助金事業から実施費用の補填があり, 中学校3校で実施</li> </ul>	男女共同 参画セン ター 学校保健 課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の視点をもって事業を実施することができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デートDV防止教育プログラムも大切だが, それ以前に道徳教育の充実が必要。道徳の教科化に伴い, 啓発を推進していく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の教科化に伴い, 啓発を推進していく。</li> <li>・支援補助金の活用により4~5校の実施を予定。</li> <li>・柏市の独自教材「生と愛と性」に同様のものが掲載されているため, 活用して啓発していく。</li> </ul>	

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども福祉課，男女共同参画センター双方で連携を図り，調査・研究を進めた。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター こども福 祉課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県から配偶者暴力相談支援センターの設置の依頼を受け，こども福祉課，男女共同参画センター双方で設置に関する調査・研究を進めた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣他市の動向も見ながら，設置の必要性を見極めていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度同様</li> </ul>	

## ◎推進体制

### ◆男女共同参画推進体制の充実

- (1) 計画の推進体制の強化
- (2) 男女共同参画センターの運営
- (3) 計画の効果的な進行管理

#### ① 計画の推進体制の強化

番号 108

男女共同参画推進庁内連絡会議・幹事会の整備・活用

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・人事異動等による柏市男女共同参画推進庁内連絡会議設置要領の一部を改正，および幹事会幹事会名簿等の改正を行った。	男女共同 参画セン ター
具柏の計画内容	・柏市男女共同参画推進庁内連絡会議名簿および幹事会の名簿の整備および関係各所への配架を行った。	
継続的課題や改善点	・年度初めに組織改変・人事異動を反映した名簿を作成・配架することで，各委員会委員間の周知と連携を図る必要がある。	
平成30年度 予定事業	・引き続き，年度初めに組織改変・人事異動を反映した柏市男女共同参画推進庁内連絡会議名簿および幹事会の名簿の整備・配架を行い，各委員会の充実と連携を図る。	

番号 109

男女共同参画推進審議会の充実

各分野および公募委員などからなる男女共同参画推進審議会を充実し，さまざまな視点を反映させながら，本計画の推進を図ります。

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・審議会は年3回実施。第三次柏市男女共同参画推進計画の推進（なかでも企業表彰など）について重点的に協議。	男女共同 参画セン ター
具柏の計画内容	・「柏市働く男女（ひと）と家庭に優しい企業表彰」について見直しに向け，今後の進め方についての重点的に検討した。	
継続的課題や改善点	・第三次柏市男女共同参画推進計画の推進に向け，審議会より提出された意見書を基に関係各課に更なる推進を働きかけていく。	
平成30年度 予定事業	・平成30年度は第三次柏市男女共同参画推進計画の3年目の内容検証の年にあたり，その検討と女性活躍推進法に基づく市町村推進計画の位置づけについての検討を行っていく。	

番号 110

男女共同参画担当部署の庁内組織強化

本計画が全庁的に推進できるよう、担当部署を充実・強化します。

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・男女共同参画室から協働推進課に組織変更し、男女共同参画の推進を図った。	男女共同 参画セン ター 関係課
具体的評価内容	・パレット柏の男女共同参画センターだけでなく、本庁舎にも男女共同参画を担当する職員が配置されたため、体制今強化に繋がった。	
継続的課題や改善点	・庁内関係各課の連携や全庁的に本計画を推進していくための働きかけが必要	
平成30年度 予定事業	・30年度も、多くの部で組織改編が行われているため、施策がきちんと新設部門に引き継がれるよう、注力していく。	

## ② 男女共同参画センターの運営

番号 111

### 男女共同参画センターのあり方の検討

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・館内イベントの際などには、PRを兼ねて掲示や啓発を一緒に行った。 ・第25回男女共同参画フォーラムを実施、啓発講座や、男女共同参画に関するイベントのポスターやチラシなどの掲示を行った。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・施設が駅からすぐの立地であり、複合施設を利用する多様な年齢層の方たちの目に触れる機会が多くなったことが認知度や啓発の効果につながっている。 ・図書の貸し出し件数、交流スペースの利用も増加傾向	
継続的課題や改善点	・男女共同参画センターの認知度が上がってきていることで、実施している相談事業の件数が増加傾向にある。開所年数を重ねていくにつれ継続的に状況把握をしていく必要があると考える。	
平成30年度 予定事業	・協働推進課として、複合施設の利点を活かした男女共同参画センターの運営を行う。	

## ③ 計画の効果的な進行管理

番号 112

### 苦情処理機関の設置に関する調査・研究

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・広報公聴課など関係機関や近隣各市からの情報収集を行った。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・事例を情報収集することにより、当市の施策の振り返りに繋がった。	
継続的課題や改善点	・相談窓口は各課で多様な相談窓口を設置しているが総合的な苦情等意見の受け皿は広報公聴課が行っている。新たに男女共同参画に特化した苦情処理機関の設置には設置の効果を	



	ふまえた調査等が不足している。	
平成30年度 予定事業	・継続的な情報収集や調査を行う。	

施策番号 113

推進状況の把握および年次報告の公表

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・第三次市男女共同参画推進計画の実績報告をとりまとめ、公表をした。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・第三次市男女共同参画推進計画の策定と平行し将来的な課題も含めた本計画の指標に対する達成度の検証を行った。	
継続的課題や改善点	・第三次市男女共同参画推進計画について課題指標と達成度を市民にわかりやすく示しながら進捗管理を行っていく。	
平成30年度 予定事業	・平成30年7月中旬までに各課施策の前年度実績報告の照会を実施、10月に実績報告書のたたき台を作成し審議会で報告を行い、平成30年2月に完成・公表のスケジュールで作成予定	

施策番号 114

評価方法の検討・整備

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・第三次市男女共同参画推進計画の初回実績報告書のとりまとめとなるので、内容や評価方法を審議会と検討しながら進めていった。	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	・計の指標の実績を見開きページ委まとめることにより、市民にとって視覚的にもわかりやすい形にまとめることができた。	
継続的課題や改善点	・施策の効果・向上が数値的に表せないものに対する評価方法が課題	
平成30年度 予定事業	・第三次市男女共同参画推進計画の内容検証の年のため、内容や評価方法を審議会と検討しながら進めていく。	

◆庁内の男女共同参画推進体制の推進  
 (4) 男女共同参画推進庁内連絡会議の充実  
 (5) 市職員の意識の向上

① 男女共同参画推進庁内連絡会議の充実

番号 115

男女共同参画推進庁内連絡会議の充実

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全庁的に男女共同参画を進めていくため、当市の男女共同参画推進審議会会長の中央学院大学法学部教授大村氏を講師に、庁内連絡会議研修会を行った。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修は、審議会委員にも通知して参加をうながすことにより、審議会委員についても再度男女共同参画について再度理解を深める機会となった。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内関係課の部課長へ直接働きかけることにより、男女共同参画推進計画の推進を図りまた男女共同参画の視点を各課の施策に反映してもらうことができるため、引き続き継続して会議を行っていく必要がある。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も男女共同参画推進庁内連絡会議委員の庁内研修会を実施予定。である。</li> </ul>	

② 市職員の意識の向上

施策番号 116

男女共同参画に関する職員研修の充実

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画等に関する研修（新任主事対象）</li> <li>・ハラスメント等に関する研修（新任所属長対象）</li> <li>・産前休暇取得予定者説明会（年5回開催、対象職員及びその配偶者対象）</li> </ul>	人事課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修において、男女共同参画に関する意識醸成の機会を創出した。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画（第2次前期計画）のもと、引き続き実施していく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修の継続実施</li> <li>・若手職員に向けたキャリアデザイン研修の実施</li> </ul>	

### ③ 性別にとらわれない職員の採用・配置

施策番号 117

#### 性別にとらわれない職員の採用

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の採用（平成30年4月1日付け）152人 男性63人 女性89人（保育士・保健師等専門職を含む）</li> </ul>	人事課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別にとらわれることなく、職員の採用を行った。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、性別とは関係なく、能力や人物を重視した職員の採用を行っていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別にとらわれない職員の採用</li> </ul>	

施策番号 118

#### 女性職員の積極的な職務配置

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性職員の積極的な職務配置</li> </ul>	人事課
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性職員の計画的な育成を図るため、管理職に求められる業務経験や能力開発の機会が確保されることを意図した人事配置し、性別にとらわれることのない職員の配置を行った。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、性別とは関係なく、能力や人物を重視した職員の配置を行っていく。</li> </ul>	
平成30年度 予定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別にとらわれない職員の配置</li> </ul>	

### ④ 関係機関との連携

施策番号 119

#### 国・県・近隣市町村・近隣の大学・市民・市民団体・NPO・企業等との連携

		担当課
平成29年度 実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>内閣府や県主催、東葛飾地区の各ネットワーク会議や情報交換の場に参加し、情報共有や連携を図った。</li> </ul>	男女共同 参画セン ター
具体的評価内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各会に参加し情報交換をすることで、各市の取り組みや共通課題を参考にすることができた。</li> </ul>	
継続的課題や改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画の視点は広く、当センターが直接的に連携を図ることも大切だが、庁内各課がそれぞれ男女共同参画の視点をもって関わりのある組織（自治会や市民団体、企業など）と連携をすることが不可欠だと考える。</li> </ul>	

平成30年度 予定事業	・内閣府や県主催のネットワーク会議や情報交換の場に出席し、連携を図る他、麗澤大学と連携して、男女共同参画フォーラムの分科会の協力を行う。	
----------------	--	--

### ⑤ 男女共同参画条例に関する情報収集

施策番号 120

#### 男女共同参画条例に関する調査・研究

		担当課
平成29年度 実施事業内容	・県内の条例制定状況を確認しながら、条例に関する情報収集を行った。	男女共同 参画セン ター
具体的計画内容	・他市の状況を確認すりことにより、他市推進計画についても調査、研究することができました。	
継続的課題や改善点	・継続的に男女共同参画条例を制定している他市のモデルケースを参考に、条例制定を目的とするのではなく、男女共同参画推進計画の3年ごとの見直しの参考にする。	
平成30年度 予定事業	・継続的に男女共同参画条例を制定している他市のモデルケースを調査・研究していく。	

